

「大阪市の自殺対策について」

アンケート調査

実施報告書

令和5年8月

大阪市こころの健康センター

「大阪市の自殺対策について」アンケート調査（令和5年8月実施）の結果

－目次－

	PAGE
【調査経緯】	69
【調査目的】	69
【調査方法】	69
【実施期間】	69
【調査対象】	69
【調査票】	69
【留意点】	69
【回答者数と内訳】	70
【結果の概要】	
問1 現在、あなたは身体的に健康ですか。 .....	71
問2 現在、あなたは精神的に健康ですか。 .....	73
問3 現在、あなたに悩みやストレスはありますか。 .....	75
問4 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。) あなたの悩みやストレスとはどんな内容ですか。当てはまるものを全て 選択してください。 また、選択された悩みやストレスの原因には、新型コロナウイルス感 染症拡大の影響があるか、該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。 .....	77
問5 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。) 悩みやストレスを日ごろ誰かに相談していますか。 .....	88
問6 こころの健康等に関する相談機関（例えば、大阪市こころの悩み電話 相談、こころの健康相談統一ダイヤル、各区役所の相談窓口、大阪精 神科救急ダイヤル、いのちの電話 など）があることを知っています か。 .....	91
問7 (問6で「1. 知っている」を選ばれた方のみお答えください。) こころの健康等に関する相談機関について、知っているものをすべて お答えください。 .....	92

問 8	自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。	94
問 9	(問 8 で「1. 聞いたことがある」を選ばれた方のみお答えください。) 自殺対策における「ゲートキーパー」の役割を知っていますか。	96
問 10	あなたは「自死」という言葉を知っていますか。	98
問 11	自殺対策は市民一人ひとりが関わるべき問題だと思いますか。	100
問 12	大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国値より高いことを知っていますか。	102
問 13	これまでのあなたの人生の中で、親族や友人・知人などが自殺をされた方が身近にいますか。	104
問 14	あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。	106
問 15	(問 14 で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。) 過去 1 年以内に、自殺したいと考えたことはありますか。	108
問 16	(問 14 で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。) そのように考えたとき、どのようにされましたか。当てはまるものをすべて選択してください。	110
問 17	あなたは「大阪市自殺対策基本指針（第 2 次）」について、知っていますか。	114
問 18	あなたは毎年 9 月 10 日から 9 月 16 日までが「自殺予防週間」であることを知っていますか。	116
問 19	あなたは毎年 3 月が「自殺対策強化月間」であることを知っていますか。	118
問 20	あなたは自殺対策にどの程度関心がありますか。	120

問 2 1	自殺対策として、あなたが大切だと思うことはどのようなものでしょうか。主なものを3つまで選択してください。	122
問 2 2	「大阪市の自殺対策」について、ご意見がございましたらご自由にお書きください（200 字以内）	126
【単純集計表】		127

### 【調査経緯】

大阪市では、国における「自殺総合対策大綱」（以下「大綱」という。）に基づき、平成21年4月に「大阪市自殺対策基本指針」を策定後、国における自殺対策基本法の改正及び新たな大綱の閣議決定を受けて、本市が実施する自殺対策の新たな指針とするため、平成30年3月に「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」（以下「2次指針」という。）を策定し、『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現』に向けて自殺対策の取組を推進しています。

2次指針は、本市における今後概ね10年間の自殺対策の方針を示すものですが、概ね5年を目途に中間評価を行い、施策の進捗状況や国の動向、社会情勢の変化などを踏まえて中間見直しを行うこととされております。

この度、令和4年10月に国の大綱が見直しされたことを受け、本市においても2次指針の中間見直しを行うための参考資料として、アンケート調査を実施しました。

### 【調査目的】

市民の皆様の自殺とその対策に関する認知度や関心度についてお聞きし、今後の自殺対策の取組の参考とさせていただくため、調査を実施しました。

### 【調査方法】

インターネットを利用した Web アンケート調査

### 【実施期間】

令和5年8月17日～8月22日

### 【調査対象】

受注者が保有するデータベース（モニター会員）から抽出した大阪市内に居住する満18歳以上の市民

### 【調査票】

前回実施時の調査票を一部改変（データ添付 133～136ページ）

### 【留意点】

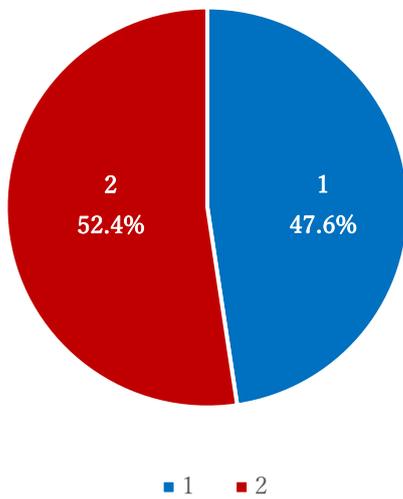
数値については各設問の回答実数を基に比率表示し、小数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計は100.0%と一致しないことがあります。

また、複数回答の質問については回答者数を母数に比率表示しています。

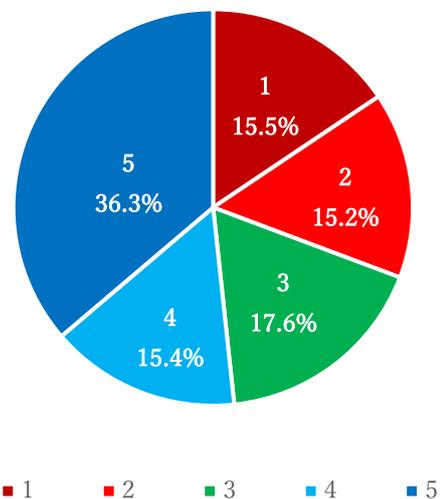
【回答者数と内訳】

年代		18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
性別	男性	65	66	77	70	145	423
		15.4%	15.6%	18.2%	16.5%	34.3%	100.0%
		47.1%	48.9%	49.4%	51.1%	45.0%	47.6%
	女性	73	69	79	67	177	465
		15.7%	14.8%	17.0%	14.4%	38.1%	100.0%
		52.9%	51.1%	50.6%	48.9%	55.0%	52.4%
合計		138	135	156	137	322	888
		15.5%	15.2%	17.6%	15.4%	36.3%	100.0%
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

回答者男女構成比



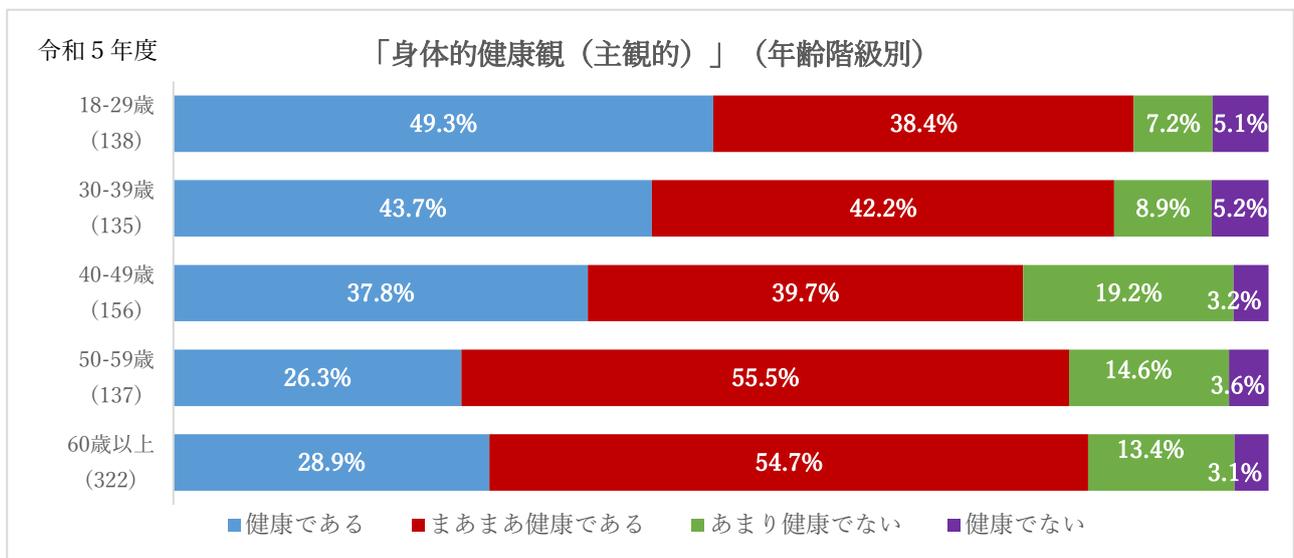
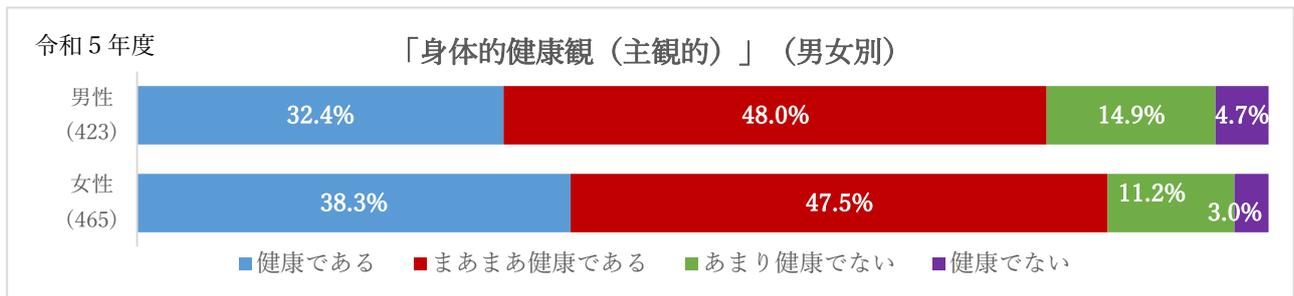
回答者年代別構成比



【結果の概要】

【問 1】

現在あなたは身体的に健康ですか？



◎前回調査との比較

「身体的健康観(主観的)」 (回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.健康である	264	38.4	112	33.7	152	42.7	315	35.5	137	32.4	178	38.3
2.まあまあ健康である	331	48.1	184	55.4	147	41.3	424	47.7	203	48.0	221	47.5
3.あまり健康でない	72	10.5	27	8.1	45	12.6	115	13.0	63	14.9	52	11.2
4.健康でない	21	3.1	9	2.7	12	3.4	34	3.8	20	4.7	14	3.0
合計	688	100.1	332	99.9	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

「身体的健康観(主観的)」 (回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.健康である	264	38.4	34	56.7	68	44.7	64	40.8	53	34.0	45	27.6
2.まあまあ健康である	331	48.1	19	31.7	63	41.4	74	47.1	83	53.2	92	56.4
3.あまり健康でない	72	10.5	6	10.0	18	11.8	12	7.6	15	9.6	21	12.9
4.健康でない	21	3.1	1	1.7	3	2.0	7	4.5	5	3.2	5	3.1
合計	688	100.1	60	100.1	152	99.9	157	100.0	156	100.0	163	100.0
「身体的健康観(主観的)」 (回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.健康である	315	35.5	68	49.3	59	43.7	59	37.8	36	26.3	93	28.9
2.まあまあ健康である	424	47.7	53	38.4	57	42.2	62	39.7	76	55.5	176	54.7
3.あまり健康でない	115	13.0	10	7.2	12	8.9	30	19.2	20	14.6	43	13.4
4.健康でない	34	3.8	7	5.1	7	5.2	5	3.2	5	3.6	10	3.1
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	99.9	137	100.0	322	100.1

●全体との傾向

- ・身体的健康観について、「あまり健康でない (13.0%)」、「健康でない (3.8%)」は、前回に比べて、それぞれ2.5ポイント、0.7ポイント増加した。

●性別による傾向

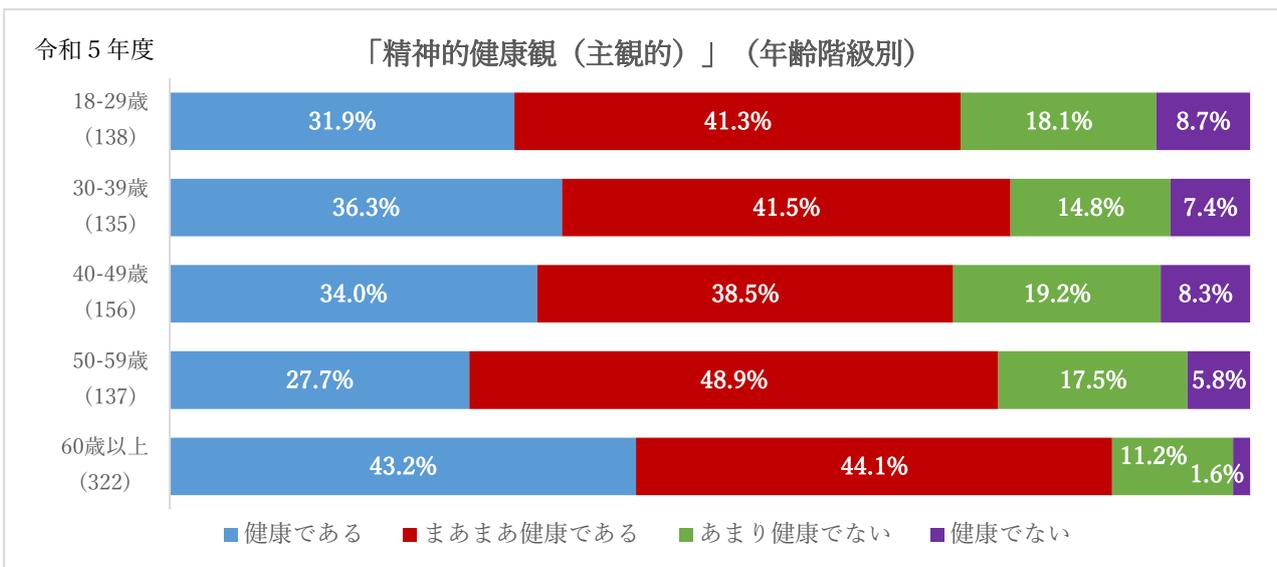
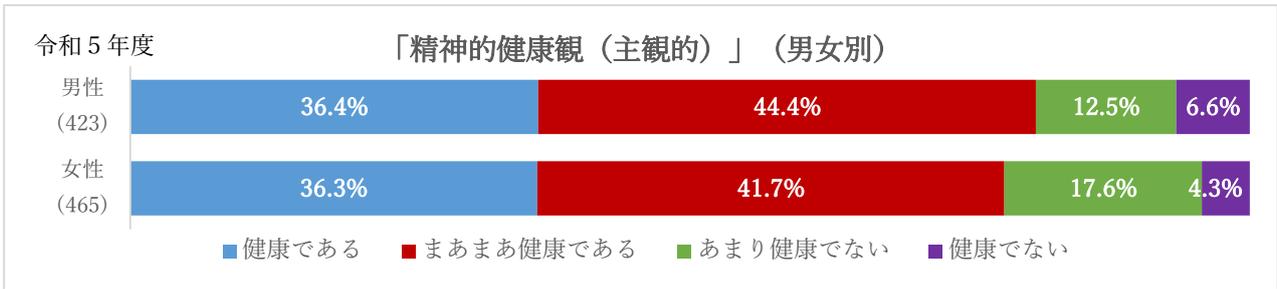
- ・男女別にみた場合、「あまり健康でない」の男性 14.9%、女性 11.2% は前回に比べて、それぞれ 6.8 ポイント増加し、1.4 ポイント減少した。「健康でない」の男性 4.7%、女性 3.0% は前回に比べてそれぞれ、2 ポイント増加し、0.4 ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「あまり健康でない」は、40歳代、50歳代でそれぞれ、19.2%、14.6%となり、前回に比べて、それぞれ11.6ポイント、5.0ポイント増加した。

【問2】

現在、あなたは精神的に健康ですか。



◎前回調査との比較

「精神的健康観(主観的)」 (回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.健康である	250	36.3	117	35.2	133	37.4	323	36.4	154	36.4	169	36.3
2.まあまあ健康である	337	49.0	166	50.0	171	48.0	382	43.0	188	44.4	194	41.7
3.あまり健康でない	81	11.8	39	11.7	42	11.8	135	15.2	53	12.5	82	17.6
4.健康でない	20	2.9	10	3.0	10	2.8	48	5.4	28	6.6	20	4.3
合計	688	100.0	332	99.9	356	100.0	888	100.0	423	99.9	465	99.9

「精神的健康観(主観的)」 (回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.健康である	250	36.3	21	35.0	53	34.9	50	31.8	52	33.3	74	45.4
2.まあまあ健康である	337	49.0	28	46.7	75	49.3	77	49.0	81	51.9	76	46.6
3.あまり健康でない	81	11.8	9	15.0	19	12.5	20	12.7	20	12.8	13	8.0
4.健康でない	20	2.9	2	3.3	5	3.3	10	6.4	3	1.9	0	0.0
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	99.9	156	99.9	163	100.0
「精神的健康観(主観的)」 (回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.健康である	323	36.4	44	31.9	49	36.3	53	34.0	38	27.7	139	43.2
2.まあまあ健康である	382	43.0	57	41.3	56	41.5	60	38.5	67	48.9	142	44.1
3.あまり健康でない	135	15.2	25	18.1	20	14.8	30	19.2	24	17.5	36	11.2
4.健康でない	48	5.4	12	8.7	10	7.4	13	8.3	8	5.8	5	1.6
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	99.9	322	100.1

●全体との傾向

- ・精神的健康観について、「あまり健康でない (15.2%)」、「健康でない (5.4%)」は、前回に比べて、それぞれ3.4ポイント、2.5ポイント増加した。

●性別による傾向

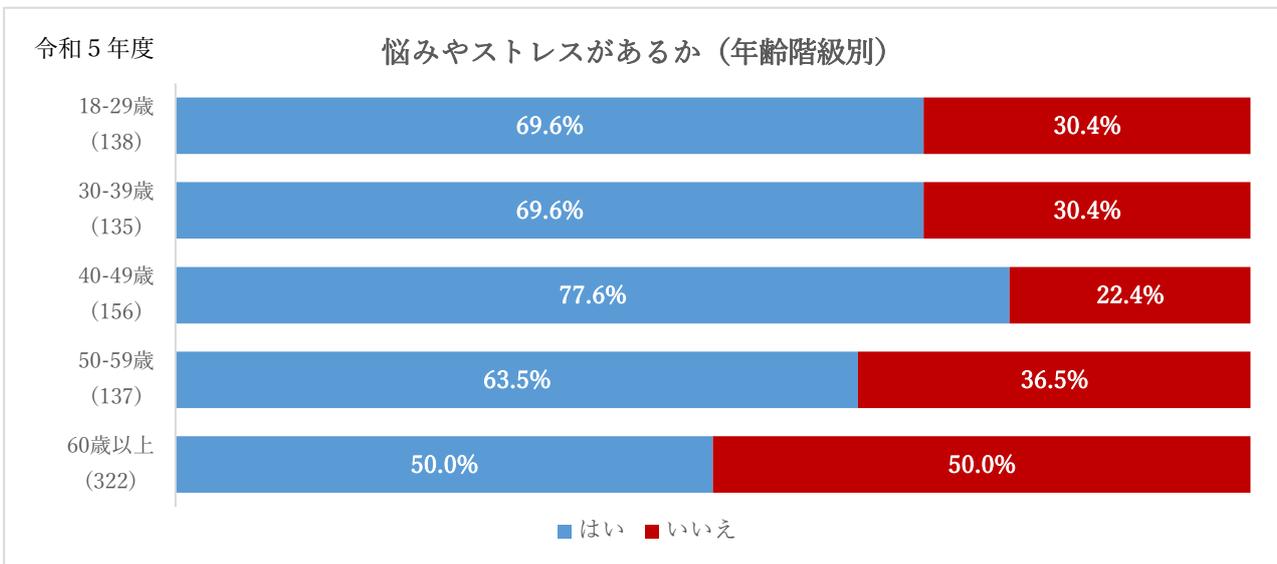
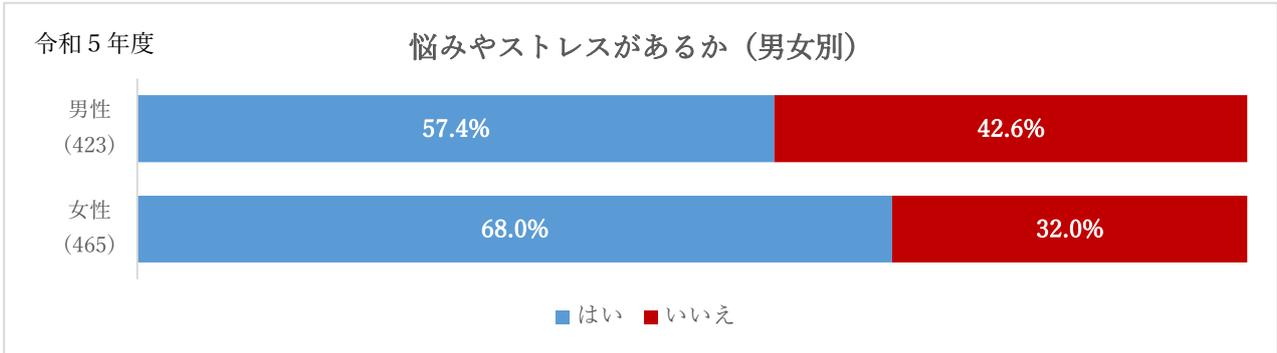
- ・男女別にみた場合、「あまり健康でない」の男性 12.5%、女性 17.6% は前回に比べて、それぞれ 0.8 ポイント、5.8 ポイント増加した。「健康でない」の男性 6.6%、女性 4.3% は前回に比べてそれぞれ、3.6 ポイント、1.5 ポイント増加した。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「あまり健康でない」「健康でない」はいずれも、全ての年齢階級において前回に比べて1.6～6.5ポイント増加した。

【問3】

現在、あなたに悩みやストレスはありますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.はい	500	72.7	230	69.3	270	75.8	559	63.0	243	57.4	316	68.0
2.いいえ	188	27.3	102	30.7	86	24.2	329	37.0	180	42.6	149	32.0
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.はい	500	72.7	45	75.0	122	80.3	125	79.6	120	76.9	88	54.0
2.いいえ	188	27.3	15	25.0	30	19.7	32	20.4	36	23.1	75	46.0
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.はい	559	63.0	96	69.6	94	69.6	121	77.6	87	63.5	161	50.0
2.いいえ	329	37.0	42	30.4	41	30.4	35	22.4	50	36.5	161	50.0
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・悩みやストレスがあるかについて、「はい」は63.0%であり、前回に比べて9.7ポイント減少した。

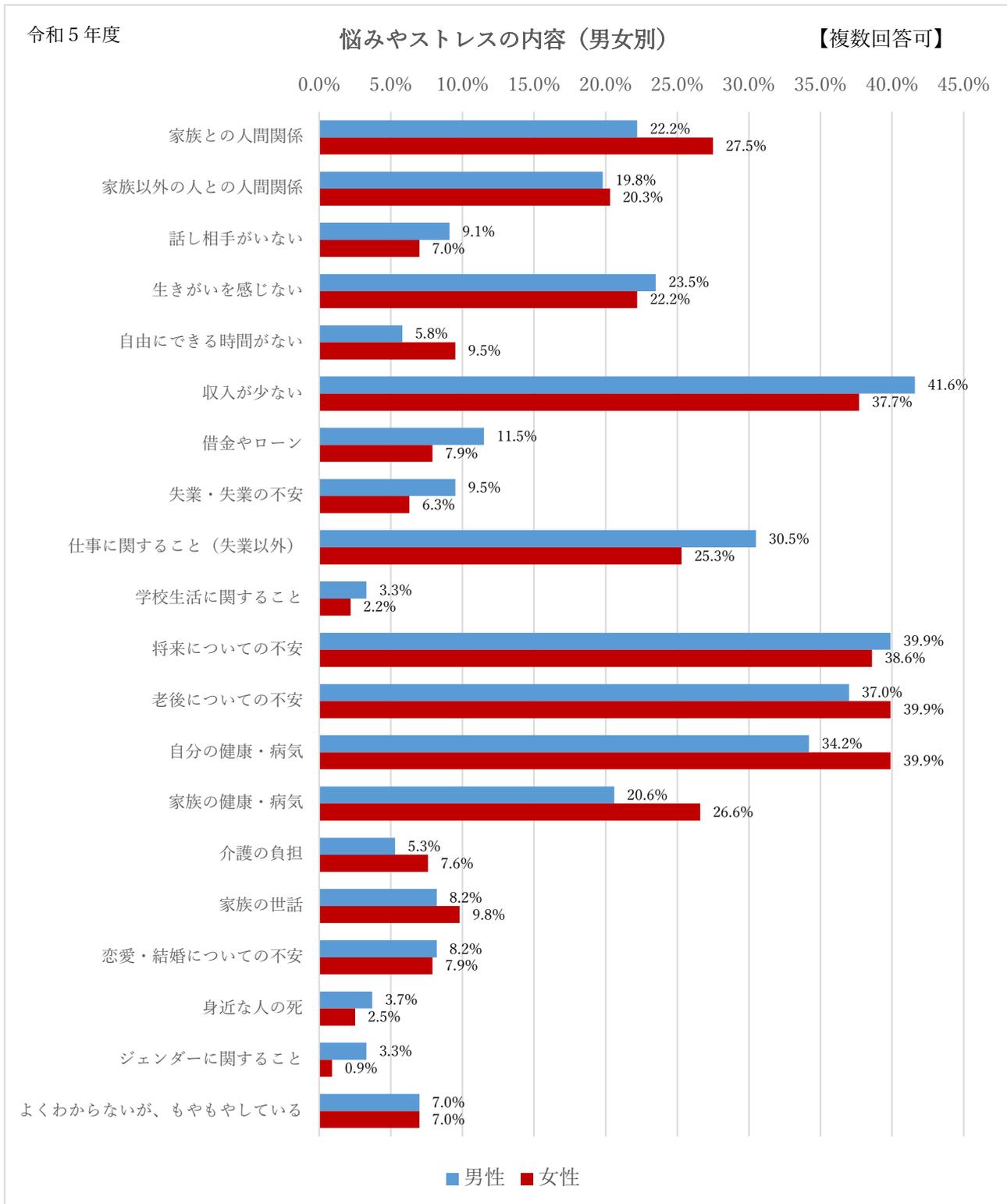
●性別による傾向

・男女別にみた場合「はい」は、男性で57.4%、女性で68.0%となり、前回に比べて、それぞれ11.9ポイント、7.8ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合「はい」は、前は30歳代(80.3%)が最も高かったが、今回は40歳代(77.6%)が最も高かった。

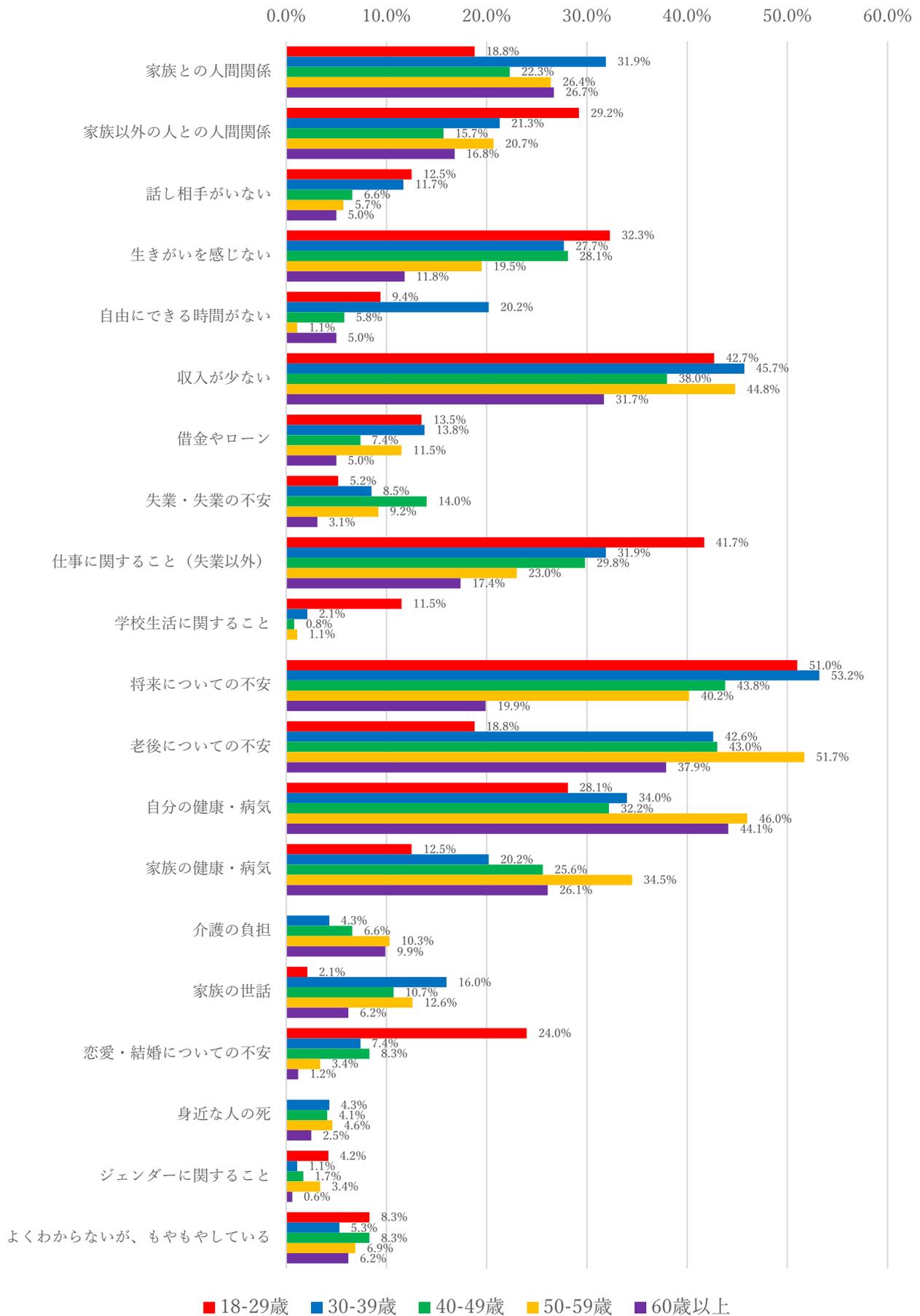
【問4】 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。)  
 あなたの悩みやストレスとはどんな内容ですか。当てはまるものを全て選択してください。



令和5年度

### 悩みやストレスの内容（年齢階級別）

【複数回答可】



◎前回調査との比較

【複数回答可】

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)		女性 (人, %)			男性 (人, %)		女性 (人, %)			
1.家族との人間関係	138	27.6	60	26.1	78	28.9	141	25.2	54	22.2	87	27.5
2.家族以外の人との人間関係	152	30.4	72	31.3	80	29.6	112	20.0	48	19.8	64	20.3
3.話し相手がいない	42	8.4	19	8.3	23	8.5	44	7.9	22	9.1	22	7.0
4.生きがいを感じない	69	13.8	35	15.2	34	12.6	127	22.7	57	23.5	70	22.2
5.自由にできる時間がない	81	16.2	31	13.5	50	18.5	44	7.9	14	5.8	30	9.5
6.収入が少ない	199	39.8	90	39.1	109	40.4	220	39.4	101	41.6	119	37.7
7.借金やローン	73	14.6	41	17.8	32	11.9	53	9.5	28	11.5	25	7.9
8.失業・失業の不安	56	11.2	30	13.0	26	9.6	43	7.7	23	9.5	20	6.3
9.仕事に関すること(失業以外)	192	38.4	117	50.9	75	27.8	154	27.5	74	30.5	80	25.3
10.学校生活に関すること	/	0.0	/	0.0	/	0.0	15	2.7	8	3.3	7	2.2
11.将来についての不安	242	48.4	111	48.3	131	48.5	219	39.2	97	39.9	122	38.6
12.老後についての不安							216	38.6	90	37.0	126	39.9
13.自分の健康・病気	192	38.4	94	40.9	98	36.3	209	37.4	83	34.2	126	39.9
14.家族の健康・病気	179	35.8	75	32.6	104	38.5	134	24.0	50	20.6	84	26.6
15.介護の負担	91	18.2	39	17.0	52	19.3	37	6.6	13	5.3	24	7.6
16.家族の世話							51	9.1	20	8.2	31	9.8
17.恋愛・結婚についての不安	45	9.0	28	12.2	17	6.3	45	8.1	20	8.2	25	7.9
18.身近な人の死	31	6.2	12	5.2	19	7.0	17	3.0	9	3.7	8	2.5
19.ジェンダーに関すること	/	0.0	/	0.0	/	0.0	11	2.0	8	3.3	3	0.9
20.よくわからないが、もやもやしている	45	9.0	23	10.0	22	8.1	39	7.0	17	7.0	22	7.0
21.その他(具体的に)	30	6.0	10	4.3	20	7.4	17	3.0	6	2.5	11	3.5

(回答)	平成29年度											令和5年度												
	全体 (人, %)	年齢階級別										全体 (人, %)	年齢階級別											
		18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)	18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)													
1.家族との人間関係	138	27.6	16	35.6	26	21.3	30	24.0	37	30.8	29	33.0	141	25.2	18	18.8	30	31.9	27	22.3	23	26.4	43	26.7
2.家族以外の人との人間関係	152	30.4	20	44.4	37	30.3	37	29.6	37	30.8	21	23.9	112	20.0	28	29.2	20	21.3	19	15.7	18	20.7	27	16.8
3.話し相手がいない	42	8.4	7	15.6	6	4.9	11	8.8	10	8.3	8	9.1	44	7.9	12	12.5	11	11.7	8	6.6	5	5.7	8	5.0
4.生きがいを感じない	69	13.8	6	13.3	14	11.5	24	19.2	13	10.8	12	13.6	127	22.7	31	32.3	26	27.7	34	28.1	17	19.5	19	11.8
5.自由にできる時間がない	81	16.2	9	20.0	37	30.3	20	16.0	8	6.7	7	8.0	44	7.9	9	9.4	19	20.2	7	5.8	1	1.1	8	5.0
6.収入が少ない	199	39.8	19	42.2	59	48.4	47	37.6	49	40.8	25	28.4	220	39.4	41	42.7	43	45.7	46	38.0	39	44.8	51	31.7
7.借金やローン	73	14.6	5	11.1	15	12.3	22	17.6	26	21.7	5	5.7	53	9.5	13	13.5	13	13.8	9	7.4	10	11.5	8	5.0
8.失業・失業の不安	56	11.2	2	4.4	12	9.8	23	18.4	17	14.2	2	2.3	43	7.7	5	5.2	8	8.5	17	14.0	8	9.2	5	3.1
9.仕事に関すること(失業以外)	192	38.4	23	51.1	52	42.6	67	53.6	44	36.7	6	6.8	154	27.5	40	41.7	30	31.9	36	29.8	20	23.0	28	17.4
10.学校生活に関すること	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	15	2.7	11	11.5	2	2.1	1	0.8	1	1.1	0	0.0
11.将来についての不安	242	48.4	19	42.2	62	50.8	60	48.0	58	48.3	43	48.9	219	39.2	49	51.0	50	53.2	53	43.8	35	40.2	32	19.9
12.老後についての不安													216	38.6	18	18.8	40	42.6	52	43.0	45	51.7	61	37.9
13.自分の健康・病気	192	38.4	12	26.7	41	33.6	42	33.6	51	42.5	46	52.3	209	37.4	27	28.1	32	34.0	39	32.2	40	46.0	71	44.1
14.家族の健康・病気	179	35.8	11	24.4	40	32.8	42	33.6	45	37.5	41	46.6	134	24.0	12	12.5	19	20.2	31	25.6	30	34.5	42	26.1
15.介護の負担	91	18.2	5	11.1	10	8.2	23	18.4	35	29.2	18	20.5	37	6.6	0	0.0	4	4.3	8	6.6	9	10.3	16	9.9
16.家族の世話													51	9.1	2	2.1	15	16.0	13	10.7	11	12.6	10	6.2
17.恋愛・結婚についての不安	45	9.0	9	20.0	12	9.8	15	12.0	7	5.8	2	2.3	45	8.1	23	24.0	7	7.4	10	8.3	3	3.4	2	1.2
18.身近な人の死	31	6.2	2	4.4	6	4.9	9	7.2	8	6.7	6	6.8	17	3.0	0	0.0	4	4.3	5	4.1	4	4.6	4	2.5
19.ジェンダーに関すること	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	/	0.0	11	2.0	4	4.2	1	1.1	2	1.7	3	3.4	1	0.6
20.よくわからないが、もやもやしている	45	9.0	6	13.3	8	6.6	17	13.6	6	5.0	8	9.1	39	7.0	8	8.3	5	5.3	10	8.3	6	6.9	10	6.2
21.その他(具体的に)	30	6.0	4	8.9	9	7.4	8	6.4	3	2.5	6	6.8	17	3.0	0	0.0	2	2.1	1	0.8	3	3.4	11	6.8

●全体との傾向

- ・悩みやストレスがあるかについて「はい」と回答された方に、その内容をたずねたところ、前回と同様に、「収入が少ない」「将来・老後についての不安」が最も高く、次いで「自分や家族の健康・病気」が高かった。

●性別による傾向

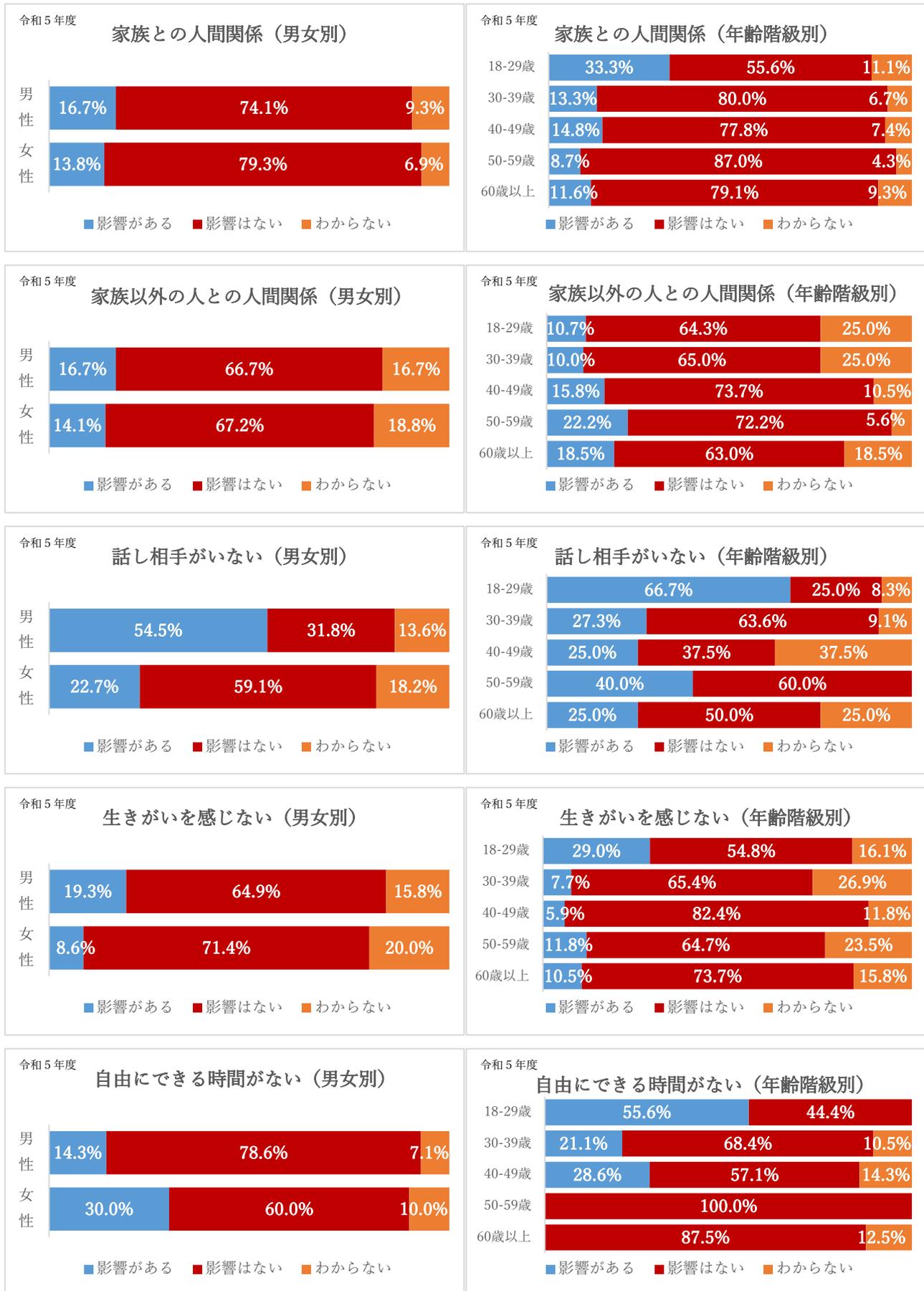
- ・男女別にみた場合も、前回と同様に「収入が少ない」「将来・老後についての不安」が最も高く、次いで「自分や家族の健康・病気」が高かった。

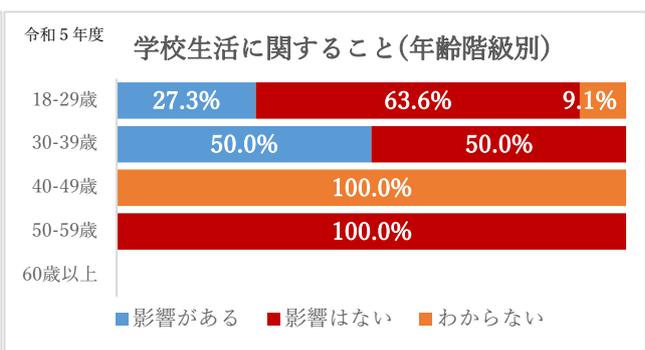
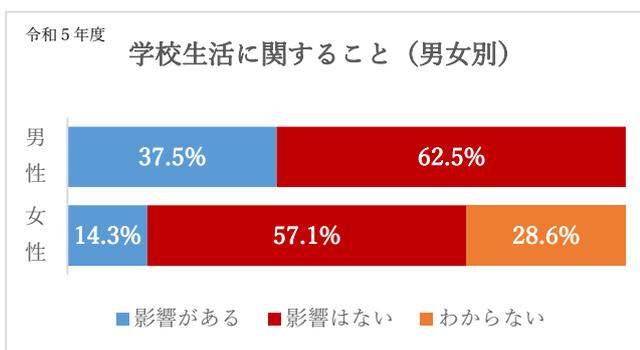
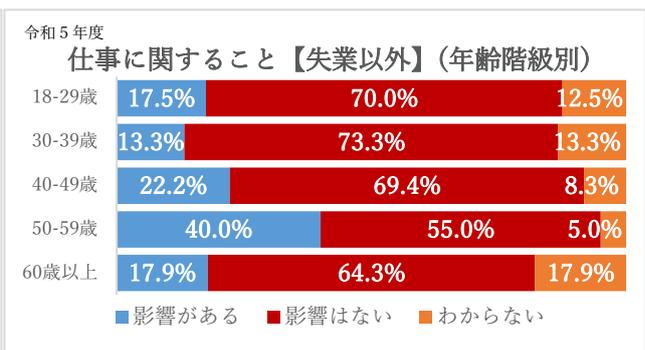
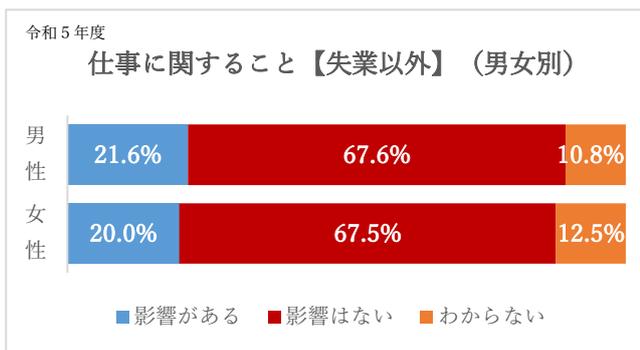
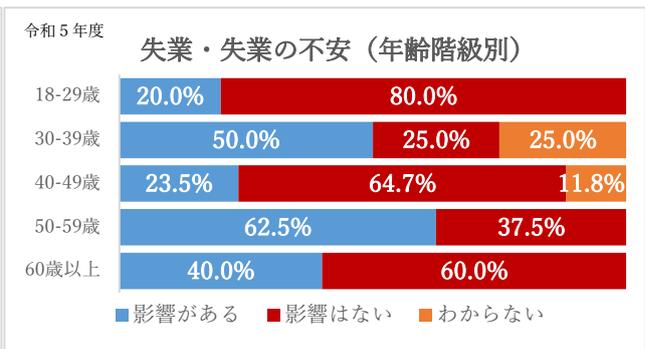
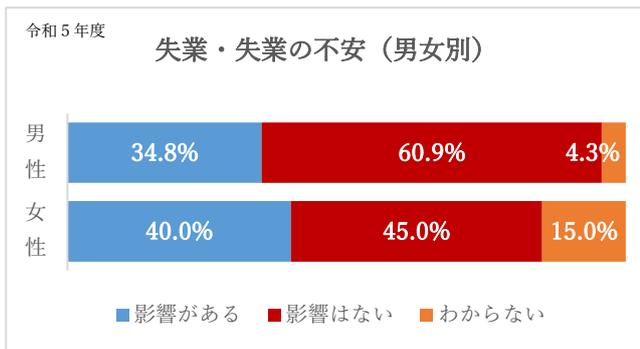
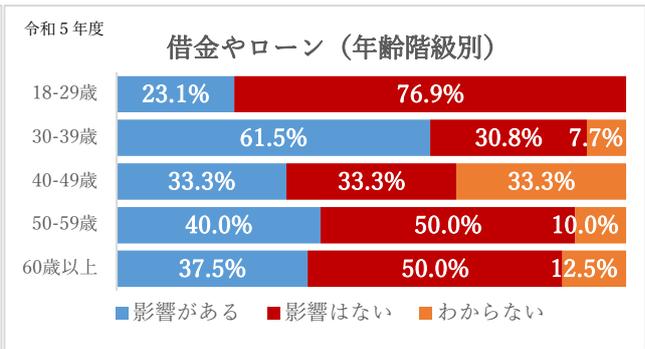
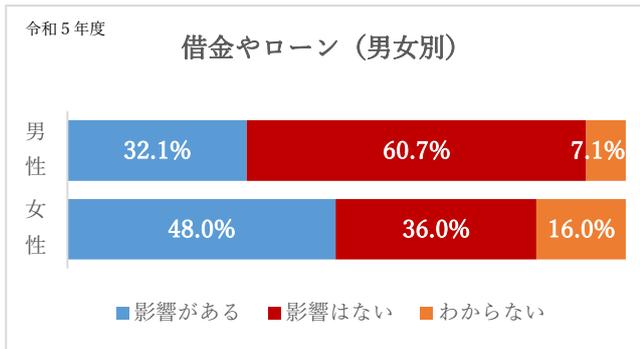
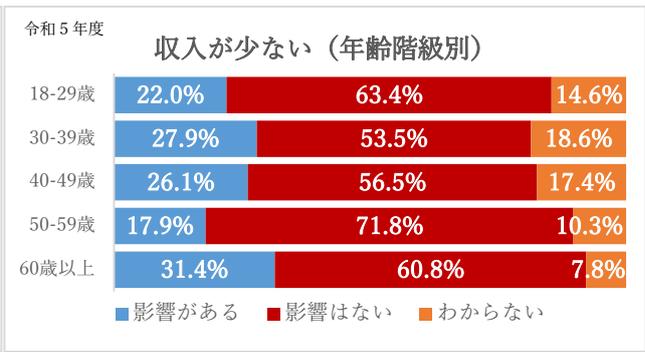
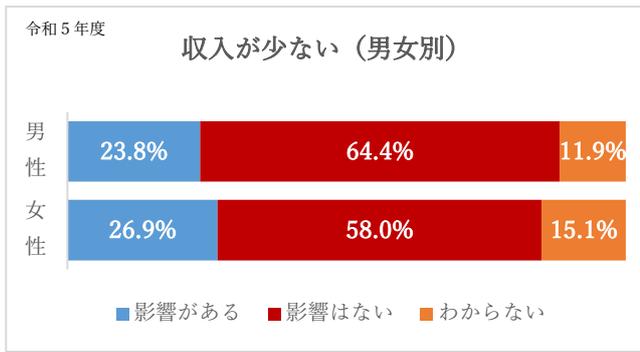
●年齢階級別による傾向

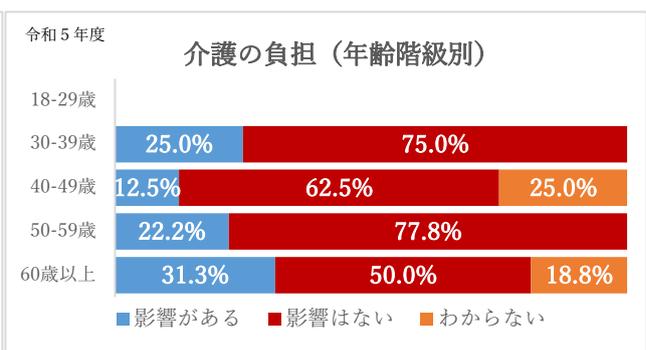
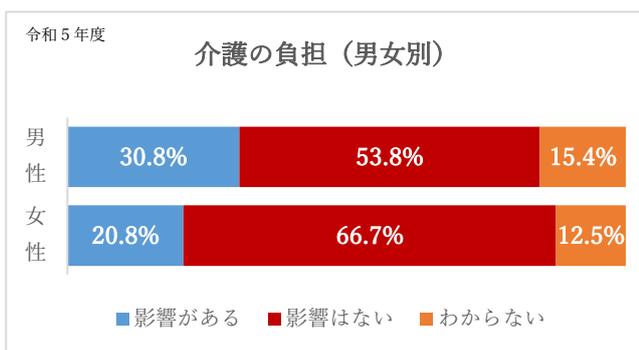
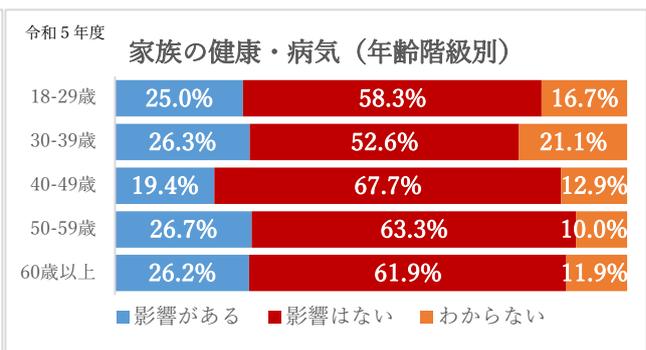
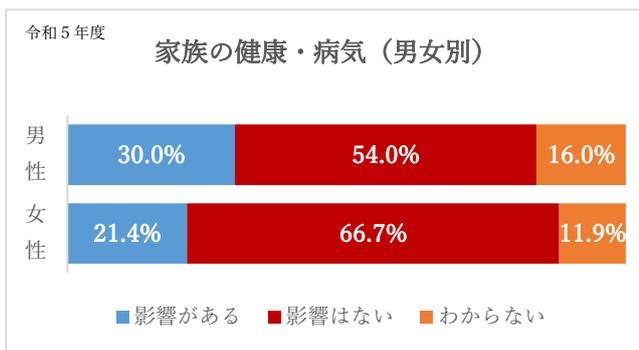
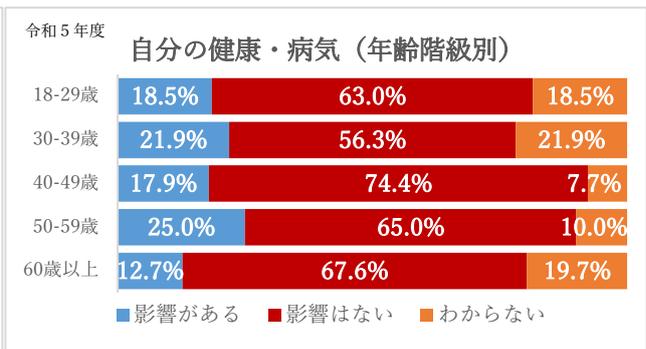
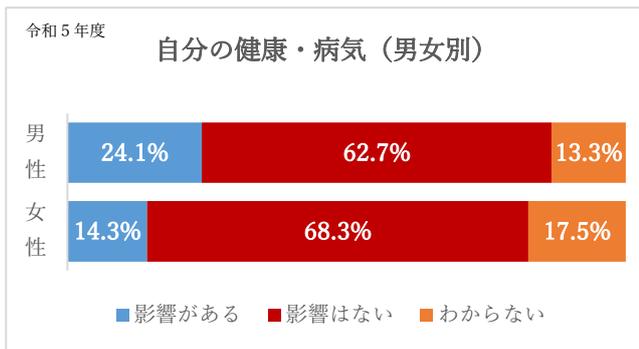
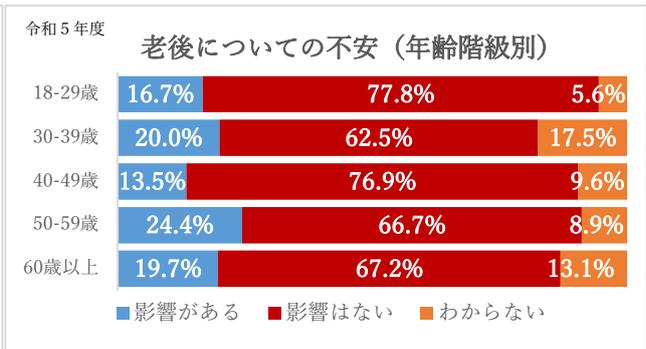
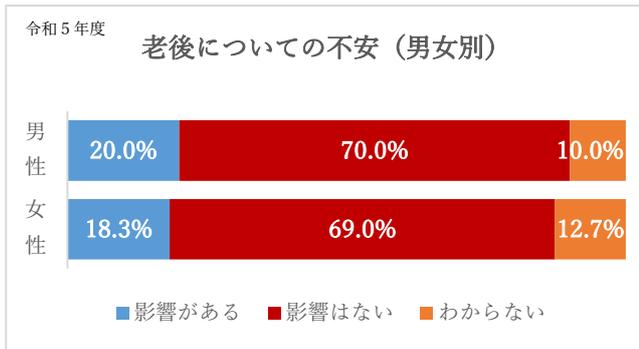
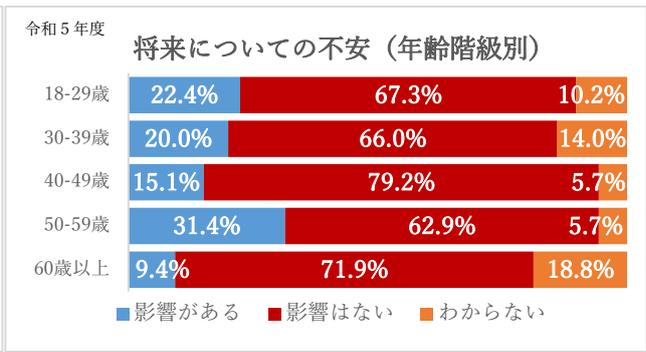
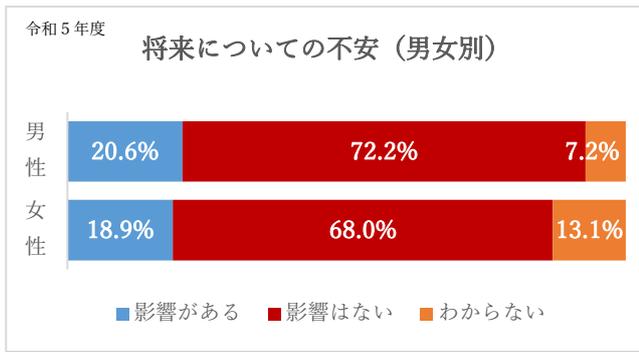
- ・年齢階級別にみた場合も、前回と同様の傾向がみられた。29歳以下、30歳代、40歳代は「収入が少ない」「仕事に関すること（失業以外）」「将来・老後についての不安」が最も高かったのに対し、50歳代、60歳以上は「自分や家族の健康・病気」が最も高くなる傾向がみられた。
- ・人間関係については、年齢階級が上がるにつれて「家族との人間関係」に悩む割合が高くなる傾向がみられた。

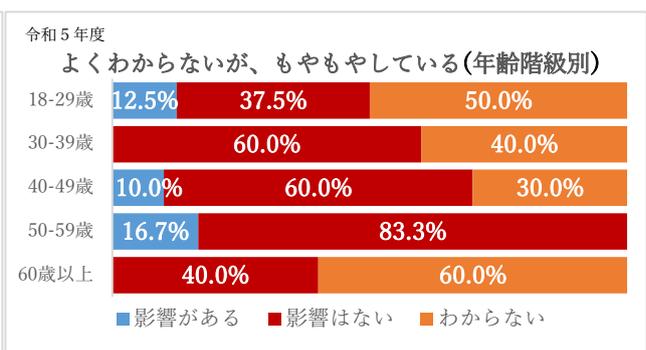
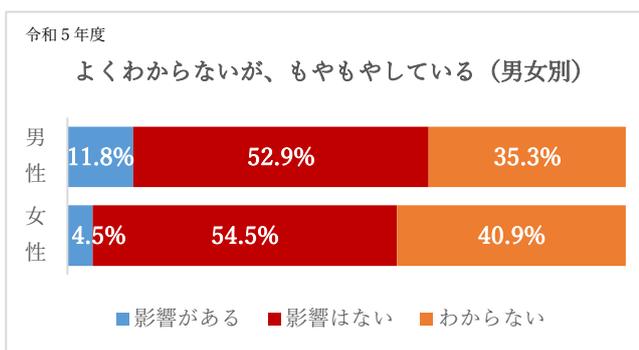
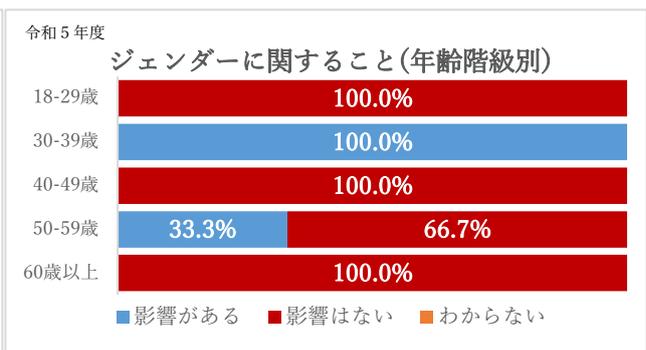
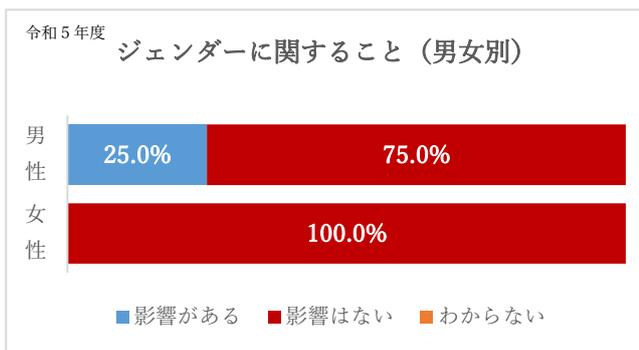
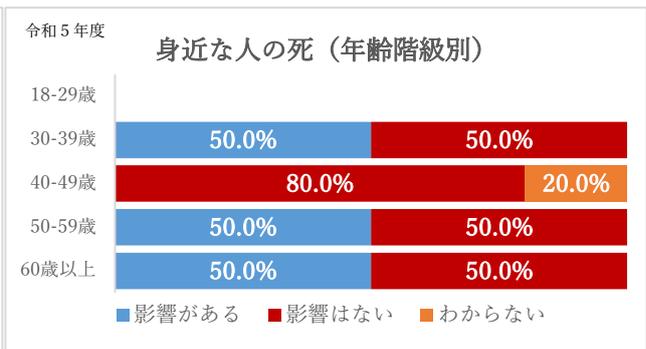
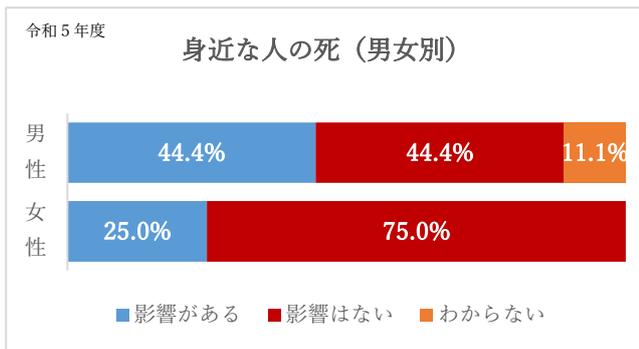
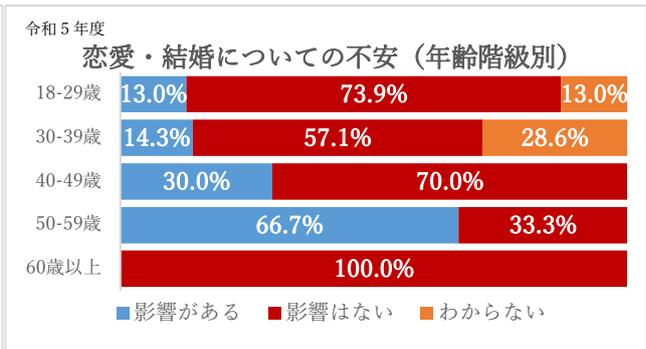
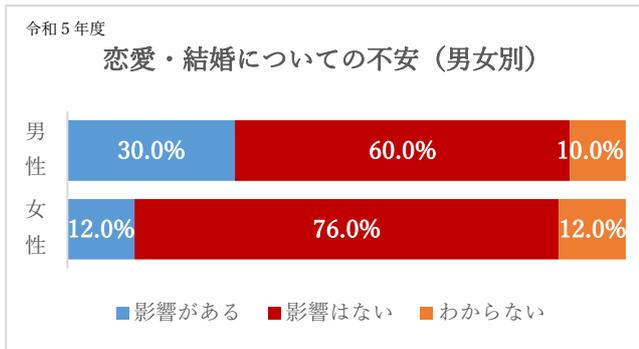
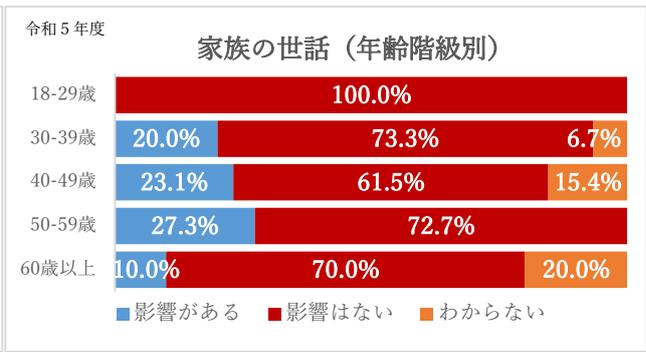
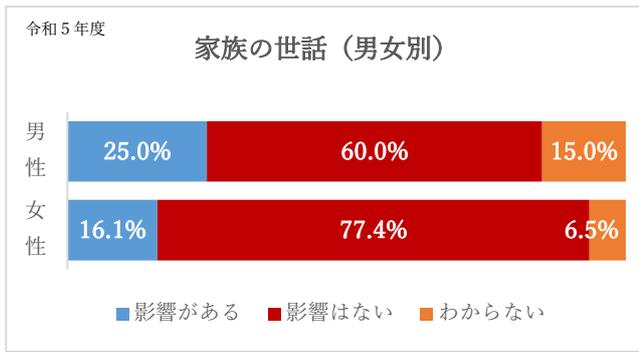
【問4（コロナ）】（問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。）

選択された悩みやストレスの原因には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるか、該当するものを選択してください。









## 【複数回答可】

(回答)		全体 (人, %)		男性 (人, %)		女性 (人, %)		(回答)		全体 (人, %)		男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.家族との人間関係	影響がある	21	14.9	9	16.7	12	13.8	11.将来についての不安	影響がある	43	19.6	20	20.6	23	18.9
	影響はない	109	77.3	40	74.1	69	79.3		影響はない	153	69.9	70	72.2	83	68.0
	わからない	11	7.8	5	9.3	6	6.9		わからない	23	10.5	7	7.2	16	13.1
	合計	141	100.0	54	100.1	87	100.0		合計	219	100.0	97	100.0	122	100.0
2.家族以外の人との人間関係	影響がある	17	15.2	8	16.7	9	14.1	12.老後についての不安	影響がある	41	19.0	18	20.0	23	18.3
	影響はない	75	67.0	32	66.7	43	67.2		影響はない	150	69.4	63	70.0	87	69.0
	わからない	20	17.9	8	16.7	12	18.8		わからない	25	11.6	9	10.0	16	12.7
	合計	112	100.1	48	100.1	64	100.1		合計	216	100.0	90	100.0	126	100.0
3.話し相手がいない	影響がある	17	38.6	12	54.5	5	22.7	13.自分の健康・病気	影響がある	38	18.2	20	24.1	18	14.3
	影響はない	20	45.5	7	31.8	13	59.1		影響はない	138	66.0	52	62.7	86	68.3
	わからない	7	15.9	3	13.6	4	18.2		わからない	33	15.8	11	13.3	22	17.5
	合計	44	100.0	22	99.9	22	100.0		合計	209	100.0	83	100.1	126	100.1
4.生きがいを感しない	影響がある	17	13.4	11	19.3	6	8.6	14.家族の健康・病気	影響がある	33	24.6	15	30.0	18	21.4
	影響はない	87	68.5	37	64.9	50	71.4		影響はない	83	61.9	27	54.0	56	66.7
	わからない	23	18.1	9	15.8	14	20.0		わからない	18	13.4	8	16.0	10	11.9
	合計	127	100.0	57	100.0	70	100.0		合計	134	99.9	50	100.0	84	100.0
5.自由にできる時間がない	影響がある	11	25.0	2	14.3	9	30.0	15.介護の負担	影響がある	9	24.3	4	30.8	5	20.8
	影響はない	29	65.9	11	78.6	18	60.0		影響はない	23	62.2	7	53.8	16	66.7
	わからない	4	9.1	1	7.1	3	10.0		わからない	5	13.5	2	15.4	3	12.5
	合計	44	100.0	14	100.0	30	100.0		合計	37	100.0	13	100.0	24	100.0
6.収入が少ない	影響がある	56	25.5	24	23.8	32	26.9	16.家族の世話	影響がある	10	19.6	5	25.0	5	16.1
	影響はない	134	60.9	65	64.4	69	58.0		影響はない	36	70.6	12	60.0	24	77.4
	わからない	30	13.6	12	11.9	18	15.1		わからない	5	9.8	3	15.0	2	6.5
	合計	220	100.0	101	100.1	119	100.0		合計	51	100.0	20	100.0	31	100.0
7.借金やローン	影響がある	21	39.6	9	32.1	12	48.0	17.恋愛・結婚についての不安	影響がある	9	20.0	6	30.0	3	12.0
	影響はない	26	49.1	17	60.7	9	36.0		影響はない	31	68.9	12	60.0	19	76.0
	わからない	6	11.3	2	7.1	4	16.0		わからない	5	11.1	2	10.0	3	12.0
	合計	53	100.0	28	99.9	25	100.0		合計	45	100.0	20	100.0	25	100.0
8.失業・失業の不安	影響がある	16	37.2	8	34.8	8	40.0	18.身近な人の死	影響がある	6	35.3	4	44.4	2	25.0
	影響はない	23	53.5	14	60.9	9	45.0		影響はない	10	58.8	4	44.4	6	75.0
	わからない	4	9.3	1	4.3	3	15.0		わからない	1	5.9	1	11.1	0	0.0
	合計	43	100.0	23	100.0	20	100.0		合計	17	100.0	9	99.9	8	100.0
9.仕事に関すること(失業以外)	影響がある	32	20.8	16	21.6	16	20.0	19.ジェンダーに関すること	影響がある	2	18.2	2	25.0	0	0.0
	影響はない	104	67.5	50	67.6	54	67.5		影響はない	9	81.8	6	75.0	3	100.0
	わからない	18	11.7	8	10.8	10	12.5		わからない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	154	100.0	74	100.0	80	100.0		合計	11	100.0	8	100.0	3	100.0
10.学校生活に関すること	影響がある	4	26.7	3	37.5	1	14.3	20.よくわからないが、もやもやしている	影響がある	3	7.7	2	11.8	1	4.5
	影響はない	9	60.0	5	62.5	4	57.1		影響はない	21	53.8	9	52.9	12	54.5
	わからない	2	13.3	0	0.0	2	28.6		わからない	15	38.5	6	35.3	9	40.9
	合計	15	100.0	8	100.0	7	100.0		合計	39	100.0	17	100.0	22	99.9

【複数回答可】

(回答)		全体		18-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60歳以上	
		(人, %)											
1.家族との人間関係	影響がある	21	14.9	6	33.3	4	13.3	4	14.8	2	8.7	5	11.6
	影響はない	109	77.3	10	55.6	24	80.0	21	77.8	20	87.0	34	79.1
	わからない	11	7.8	2	11.1	2	6.7	2	7.4	1	4.3	4	9.3
	合計	141	100.0	18	100.0	30	100.0	27	100.0	23	100.0	43	100.0
2.家族以外の人との人間関係	影響がある	17	15.2	3	10.7	2	10.0	3	15.8	4	22.2	5	18.5
	影響はない	75	67.0	18	64.3	13	65.0	14	73.7	13	72.2	17	63.0
	わからない	20	17.9	7	25.0	5	25.0	2	10.5	1	5.6	5	18.5
	合計	112	100.1	28	100.0	20	100.0	19	100.0	18	100.0	27	100.0
3.話し相手がいない	影響がある	17	38.6	8	66.7	3	27.3	2	25.0	2	40.0	2	25.0
	影響はない	20	45.5	3	25.0	7	63.6	3	37.5	3	60.0	4	50.0
	わからない	7	15.9	1	8.3	1	9.1	3	37.5	0	0.0	2	25.0
	合計	44	100.0	12	100.0	11	100.0	8	100.0	5	100.0	8	100.0
4.生きがいを感じない	影響がある	17	13.4	9	29.0	2	7.7	2	5.9	2	11.8	2	10.5
	影響はない	87	68.5	17	54.8	17	65.4	28	82.4	11	64.7	14	73.7
	わからない	23	18.1	5	16.1	7	26.9	4	11.8	4	23.5	3	15.8
	合計	127	100.0	31	99.9	26	100.0	34	100.1	17	100.0	19	100.0
5.自由にできる時間がない	影響がある	11	25.0	5	55.6	4	21.1	2	28.6	0	0.0	0	0.0
	影響はない	29	65.9	4	44.4	13	68.4	4	57.1	1	100.0	7	87.5
	わからない	4	9.1	0	0.0	2	10.5	1	14.3	0	0.0	1	12.5
	合計	44	100.0	9	100.0	19	100.0	7	100.0	1	100.0	8	100.0
6.収入が少ない	影響がある	56	25.5	9	22.0	12	27.9	12	26.1	7	17.9	16	31.4
	影響はない	134	60.9	26	63.4	23	53.5	26	56.5	28	71.8	31	60.8
	わからない	30	13.6	6	14.6	8	18.6	8	17.4	4	10.3	4	7.8
	合計	220	100.0	41	100.0	43	100.0	46	100.0	39	100.0	51	100.0
7.借金やローン	影響がある	21	39.6	3	23.1	8	61.5	3	33.3	4	40.0	3	37.5
	影響はない	26	49.1	10	76.9	4	30.8	3	33.3	5	50.0	4	50.0
	わからない	6	11.3	0	0.0	1	7.7	3	33.3	1	10.0	1	12.5
	合計	53	100.0	13	100.0	13	100.0	9	99.9	10	100.0	8	100.0
8.失業・失業の不安	影響がある	16	37.2	1	20.0	4	50.0	4	23.5	5	62.5	2	40.0
	影響はない	23	53.5	4	80.0	2	25.0	11	64.7	3	37.5	3	60.0
	わからない	4	9.3	0	0.0	2	25.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0
	合計	43	100.0	5	100.0	8	100.0	17	100.0	8	100.0	5	100.0
9.仕事に関すること(失業以外)	影響がある	32	20.8	7	17.5	4	13.3	8	22.2	8	40.0	5	17.9
	影響はない	104	67.5	28	70.0	22	73.3	25	69.4	11	55.0	18	64.3
	わからない	18	11.7	5	12.5	4	13.3	3	8.3	1	5.0	5	17.9
	合計	154	100.0	40	100.0	30	99.9	36	99.9	20	100.0	28	100.1
10.学校生活に関すること	影響がある	4	26.7	3	27.3	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	影響はない	9	60.0	7	63.6	1	50.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
	わからない	2	13.3	1	9.1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
	合計	15	100.0	11	100.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0
11.将来についての不安	影響がある	43	19.6	11	22.4	10	20.0	8	15.1	11	31.4	3	9.4
	影響はない	153	69.9	33	67.3	33	66.0	42	79.2	22	62.9	23	71.9
	わからない	23	10.5	5	10.2	7	14.0	3	5.7	2	5.7	6	18.8
	合計	219	100.0	49	99.9	50	100.0	53	100.0	35	100.0	32	100.1
12.老後についての不安	影響がある	41	19.0	3	16.7	8	20.0	7	13.5	11	24.4	12	19.7
	影響はない	150	69.4	14	77.8	25	62.5	40	76.9	30	66.7	41	67.2
	わからない	25	11.6	1	5.6	7	17.5	5	9.6	4	8.9	8	13.1
	合計	216	100.0	18	100.1	40	100.0	52	100.0	45	100.0	61	100.0

【複数回答可】

(回答)		全体 (人, %)		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
		13.自分の健康・病気	影響がある	38	18.2	5	18.5	7	21.9	7	17.9	10	25.0
	影響はない	138	66.0	17	63.0	18	56.3	29	74.4	26	65.0	48	67.6
	わからない	33	15.8	5	18.5	7	21.9	3	7.7	4	10.0	14	19.7
	合計	209	100.0	27	100.0	32	100.1	39	100.0	40	100.0	71	100.0
14.家族の健康・病気	影響がある	33	24.6	3	25.0	5	26.3	6	19.4	8	26.7	11	26.2
	影響はない	83	61.9	7	58.3	10	52.6	21	67.7	19	63.3	26	61.9
	わからない	18	13.4	2	16.7	4	21.1	4	12.9	3	10.0	5	11.9
	合計	134	99.9	12	100.0	19	100.0	31	100.0	30	100.0	42	100.0
15.介護の負担	影響がある	9	24.3	0	0.0	1	25.0	1	12.5	2	22.2	5	31.3
	影響はない	23	62.2	0	0.0	3	75.0	5	62.5	7	77.8	8	50.0
	わからない	5	13.5	0	0.0	0	0.0	2	25.0	0	0.0	3	18.8
	合計	37	100.0	0	0.0	4	100.0	8	100.0	9	100.0	16	100.1
16.家族の世話	影響がある	10	19.6	0	0.0	3	20.0	3	23.1	3	27.3	1	10.0
	影響はない	36	70.6	2	100.0	11	73.3	8	61.5	8	72.7	7	70.0
	わからない	5	9.8	0	0.0	1	6.7	2	15.4	0	0.0	2	20.0
	合計	51	100.0	2	100.0	15	100.0	13	100.0	11	100.0	10	100.0
17.恋愛・結婚についての不安	影響がある	9	20.0	3	13.0	1	14.3	3	30.0	2	66.7	0	0.0
	影響はない	31	68.9	17	73.9	4	57.1	7	70.0	1	33.3	2	100.0
	わからない	5	11.1	3	13.0	2	28.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	45	100.0	23	99.9	7	100.0	10	100.0	3	100.0	2	100.0
18.身近な人の死	影響がある	6	35.3	0	0.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0	2	50.0
	影響はない	10	58.8	0	0.0	2	50.0	4	80.0	2	50.0	2	50.0
	わからない	1	5.9	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0
	合計	17	100.0	0	0.0	4	100.0	5	100.0	4	100.0	4	100.0
19.ジェンダーに関する こと	影響がある	2	18.2	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0
	影響はない	9	81.8	4	100.0	0	0.0	2	100.0	2	66.7	1	100.0
	わからない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	11	100.0	4	100.0	1	100.0	2	100.0	3	100.0	1	100.0
20.よくわからないが、 もやもやしている	影響がある	3	7.7	1	12.5	0	0.0	1	10.0	1	16.7	0	0.0
	影響はない	21	53.8	3	37.5	3	60.0	6	60.0	5	83.3	4	40.0
	わからない	15	38.5	4	50.0	2	40.0	3	30.0	0	0.0	6	60.0
	合計	39	100.0	8	100.0	5	100.0	10	100.0	6	100.0	10	100.0

●全体との傾向

・悩みやストレスの原因には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるかたずねるところ、「借金やローン」が39.6%で最も多く、次いで「話し相手がない」が38.6%、「失業・失業の不安」が37.2%であった。

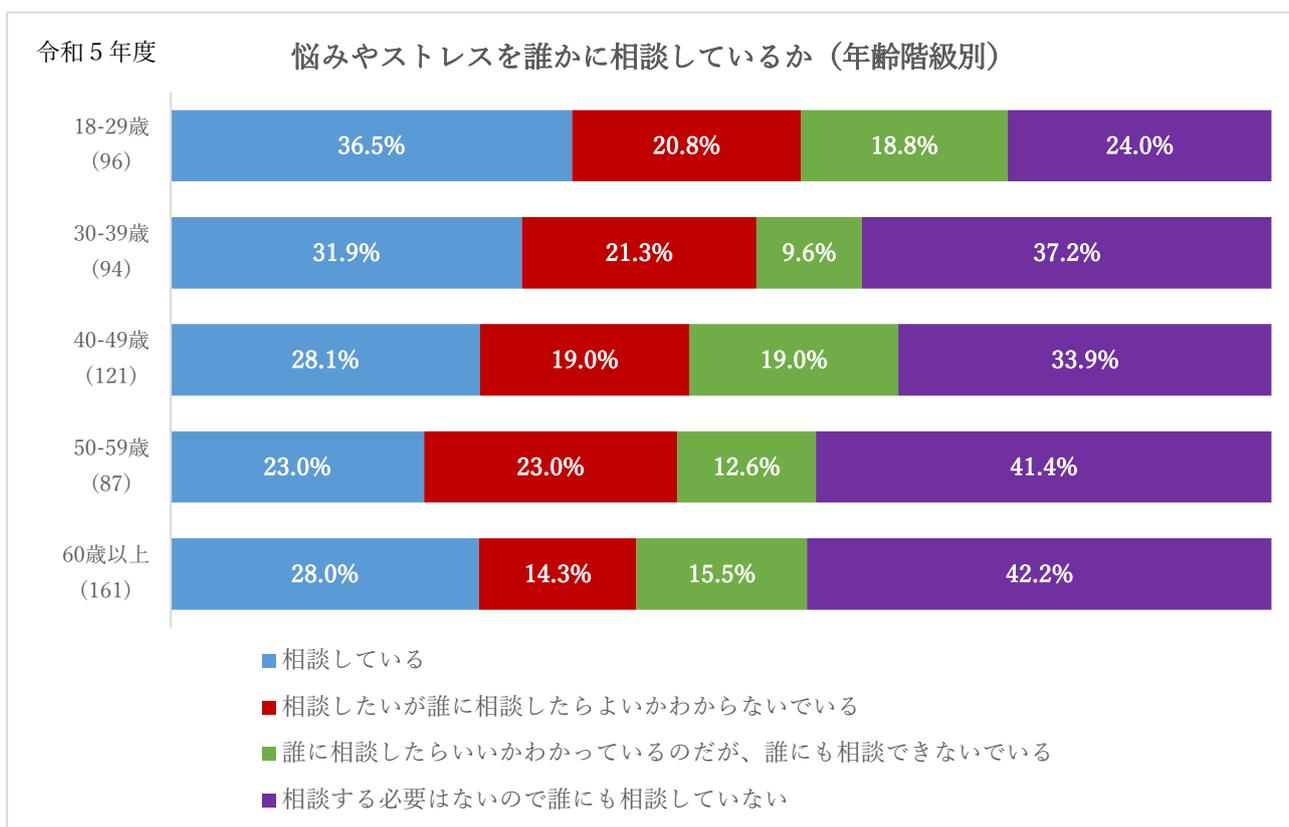
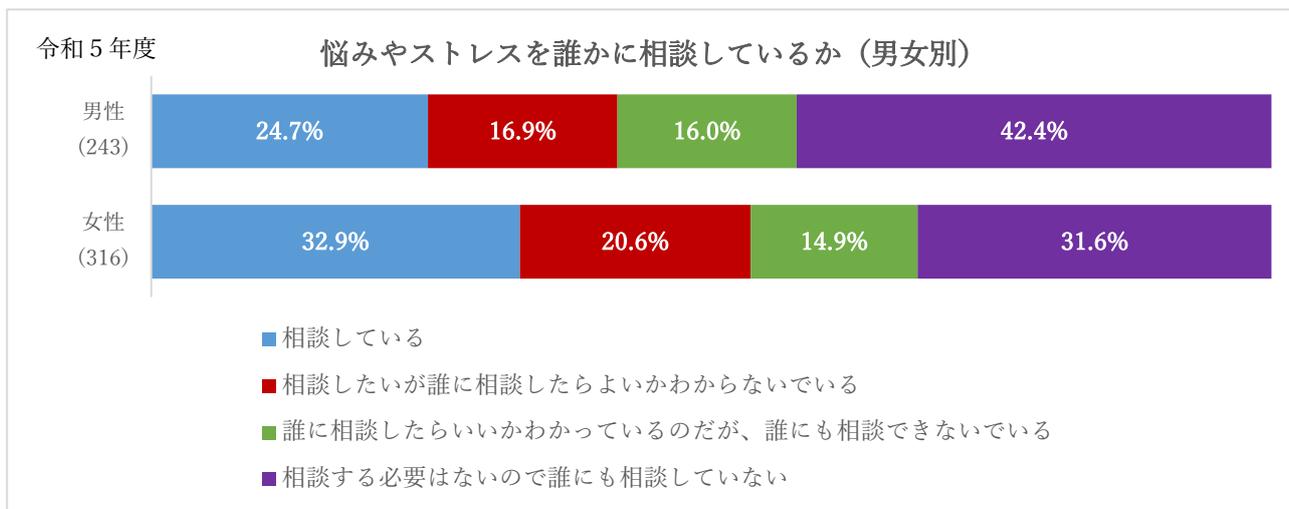
●性別による傾向

・男女別にみた場合、男性は「話し相手がない」(54.5%)が最も高く、女性は「借金やローン」(48.0%)が最も高かった。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「借金やローン」は30-39歳(61.5%)が最も高く、「話し相手がない」は18-29歳(66.7%)が最も高く、「失業・失業の不安」は50-59歳(62.5%)で最も高かった。

【問5】 (問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。)  
悩みやストレスを日ごろ誰かに相談していますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.相談している	219	43.8	81	35.2	138	51.1	164	29.3	60	24.7	104	32.9
2.相談したいが誰に相談したらよいかわからないでいる	94	18.8	46	20.0	48	17.8	106	19.0	41	16.9	65	20.6
3.誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できないでいる	51	10.2	24	10.4	27	10.0	86	15.4	39	16.0	47	14.9
4.相談する必要はないので誰にも相談していない	136	27.2	79	34.3	57	21.1	203	36.3	103	42.4	100	31.6
合計	500	100.0	230	99.9	270	100.0	559	100.0	243	100.0	316	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.相談している	219	43.8	21	46.7	65	53.3	49	39.2	47	39.2	37	42.0
2.相談したいが誰に相談したらよいかわからない	94	18.8	14	31.1	18	14.8	27	21.6	22	18.3	13	14.8
3.誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できない	51	10.2	3	6.7	15	12.3	14	11.2	12	10.0	7	8.0
4.相談する必要はないので誰にも相談していない	136	27.2	7	15.6	24	19.7	35	28.0	39	32.5	31	35.2
合計	500	100.0	45	100.1	122	100.1	125	100.0	120	100.0	88	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.相談している	164	29.3	35	36.5	30	31.9	34	28.1	20	23.0	45	28.0
2.相談したいが誰に相談したらよいかわからない	106	19.0	20	20.8	20	21.3	23	19.0	20	23.0	23	14.3
3.誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できない	86	15.4	18	18.8	9	9.6	23	19.0	11	12.6	25	15.5
4.相談する必要はないので誰にも相談していない	203	36.3	23	24.0	35	37.2	41	33.9	36	41.4	68	42.2
合計	559	100.0	96	100.1	94	100.0	121	100.0	87	100.0	161	100.0

●全体との傾向

- ・悩みやストレスを相談しているかについて、「相談する必要はないので誰にも相談していない(36.3%)」が最も高く、次いで「相談している(29.3%)」が高く、前回の結果と逆転していた。

●性別による傾向

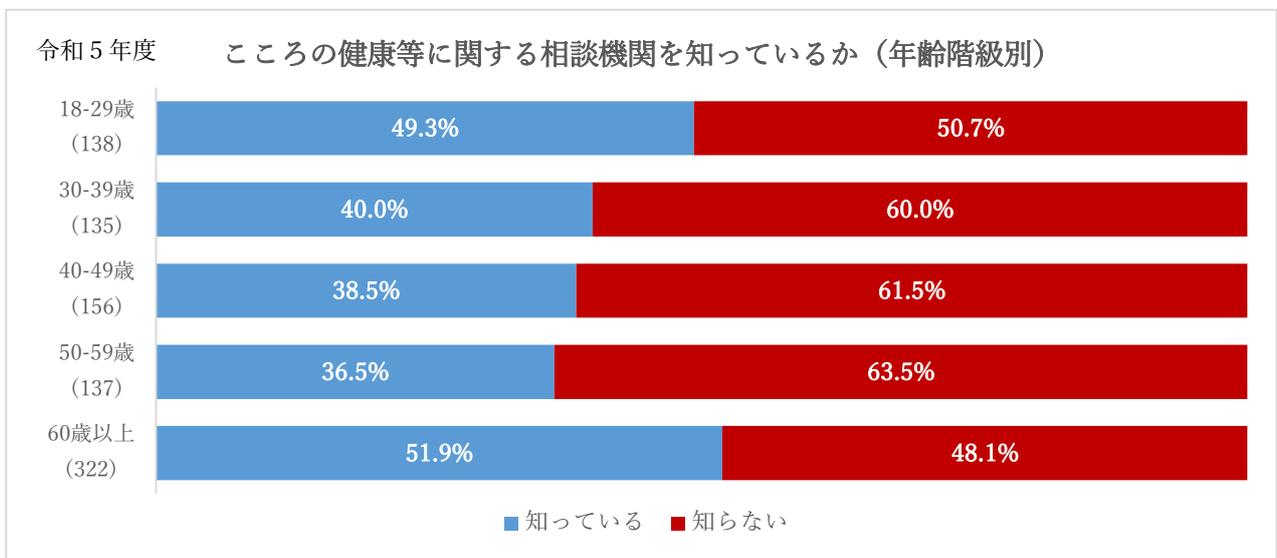
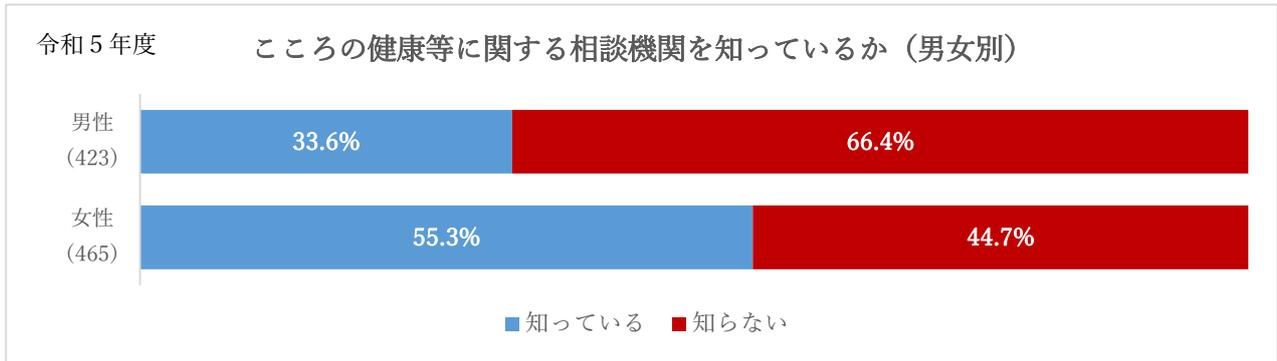
- ・男女別にみた場合、男性は「相談する必要はないので誰にも相談していない」が最も高く、次いで「相談している」が高く、前回の結果と逆転していた。女性は「相談している」が最も高く、次いで「相談する必要はないので誰にも相談していない」が高く、前回と同様の結果であった。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合は、29歳以下を除くすべての年齢階級で「相談する必要はないので誰にも相談していない」が最も高く、次いで「相談している」が高く、前回の結果と逆転していた。

【問6】

こころの健康等に関する相談機関（例えば、大阪市こころの悩み電話相談、こころの健康相談統一ダイヤル、各区役所の相談窓口、大阪精神科救急ダイヤル、いのちの電話 など）があることを知っていますか。



(回答)	全体 (人, %)		男性 (人, %)		女性 (人, %)	
	1.知っている	399	44.9	142	33.6	257
2.知らない	489	55.1	281	66.4	208	44.7
合計	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	全体 (人, %)		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
	知っている	399	44.9	68	49.3	54	40.0	60	38.5	50	36.5	167
知らない	489	55.1	70	50.7	81	60.0	96	61.5	87	63.5	155	48.1
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

- ・こころの健康等に関する相談機関について、「知らない」(55.1%)が「知っている」(44.9%)より10.2ポイント高かった。

●性別による傾向

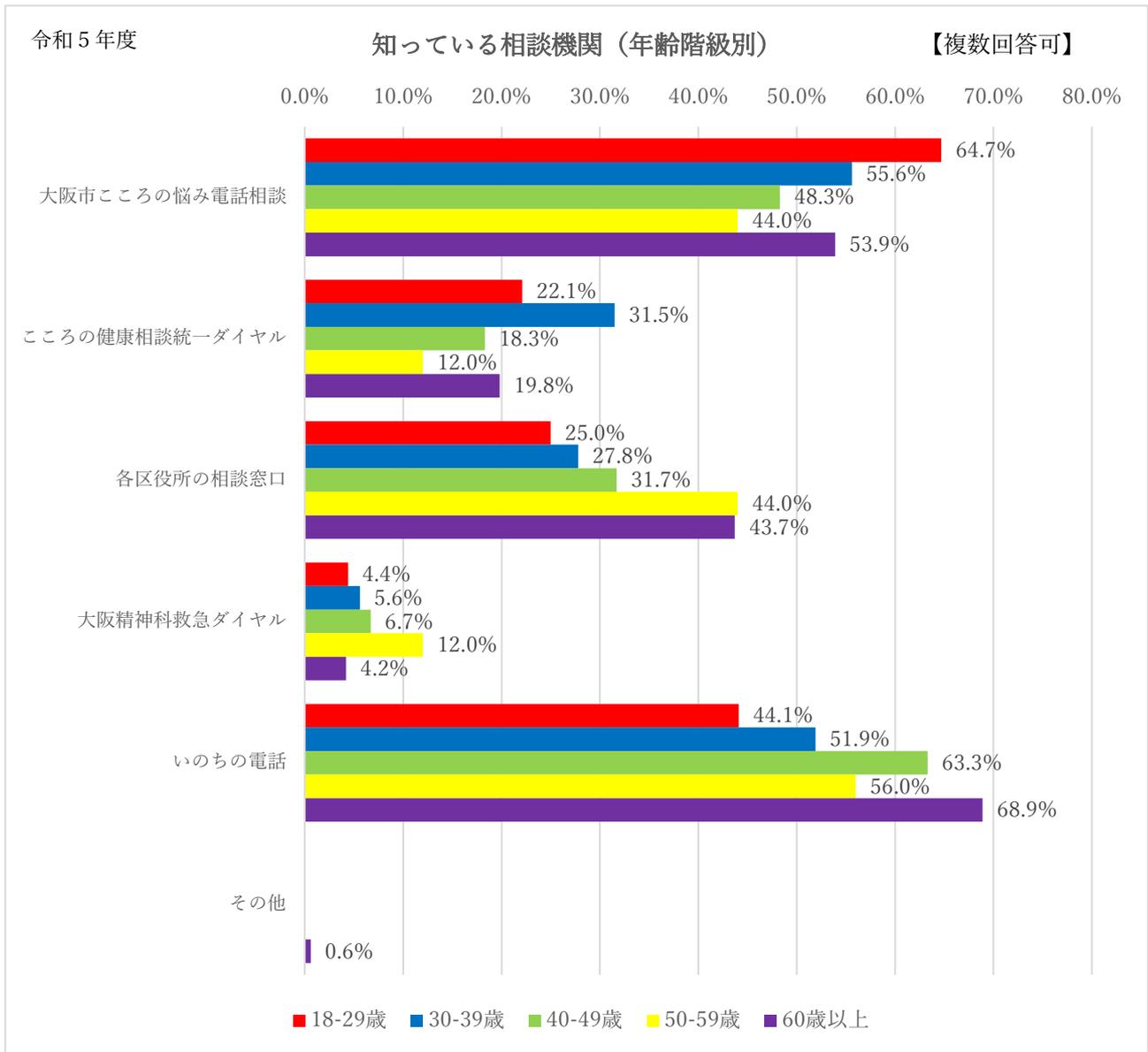
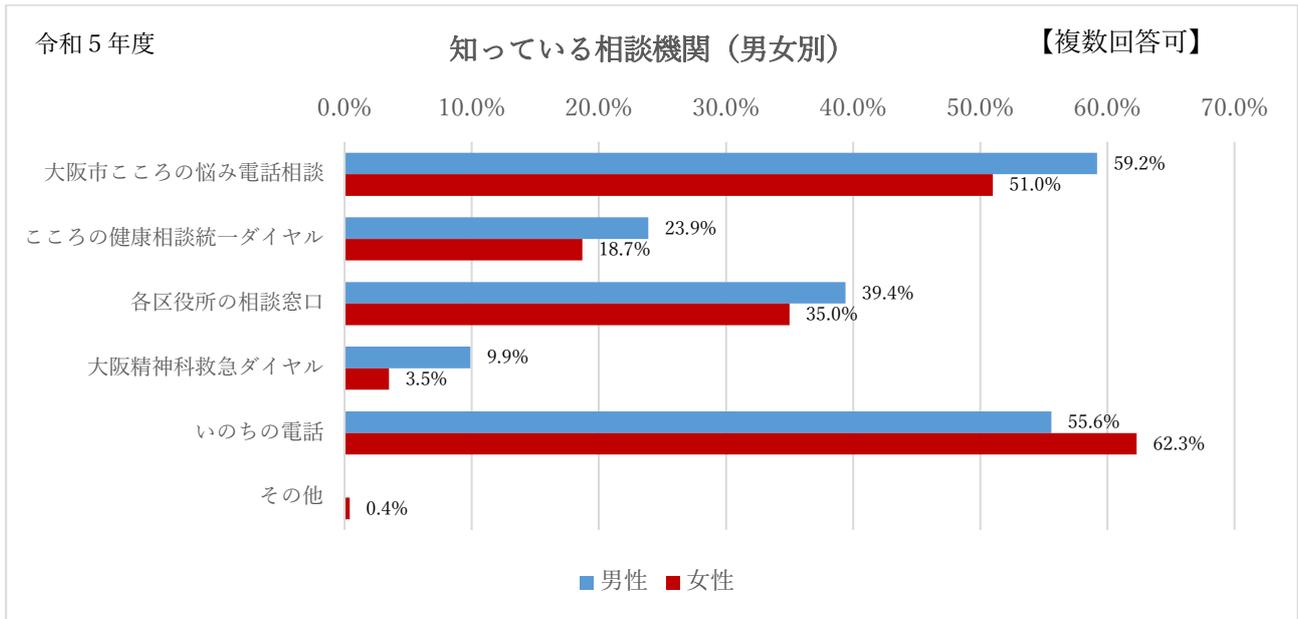
- ・男女別にみた場合、「知らない」は女性(44.7%)よりも、男性(66.4%)のほうが21.7ポイント高かった。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「知らない」は50-59歳(63.5%)が最も高く、次いで40-49歳(61.5%)、30-39歳(60.0%)であった。

【問7】 (問6で「1. 知っている」を選ばれた方のみお答えください。)

こころの健康等に関する相談機関について、知っているものをすべてお答えください。



【複数回答可】

(回答)	全体 (人, %)		男性 (人, %)		女性 (人, %)	
	1.大阪市こころの悩み電話相談	215	53.9	84	59.2	131
2.こころの健康相談統一ダイヤル	82	20.6	34	23.9	48	18.7
3.各区役所の相談窓口	146	36.6	56	39.4	90	35.0
4.大阪精神科救急ダイヤル	23	5.8	14	9.9	9	3.5
5.いのちの電話	239	59.9	79	55.6	160	62.3
6.その他	1	0.3	0	0.0	1	0.4

(回答)	全体 (人, %)		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
	1.大阪市こころの悩み電話相談	215	53.9	44	64.7	30	55.6	29	48.3	22	44.0	90
2.こころの健康相談統一ダイヤル	82	20.6	15	22.1	17	31.5	11	18.3	6	12.0	33	19.8
3.各区役所の相談窓口	146	36.6	17	25.0	15	27.8	19	31.7	22	44.0	73	43.7
4.大阪精神科救急ダイヤル	23	5.8	3	4.4	3	5.6	4	6.7	6	12.0	7	4.2
5.いのちの電話	239	59.9	30	44.1	28	51.9	38	63.3	28	56.0	115	68.9
6.その他	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6

●全体との傾向

- ・こころの相談機関の認知度について、「いのちの電話」が59.9%で最も多く、次いで「大阪市こころの悩み電話相談」が53.9%であった。

●性別による傾向

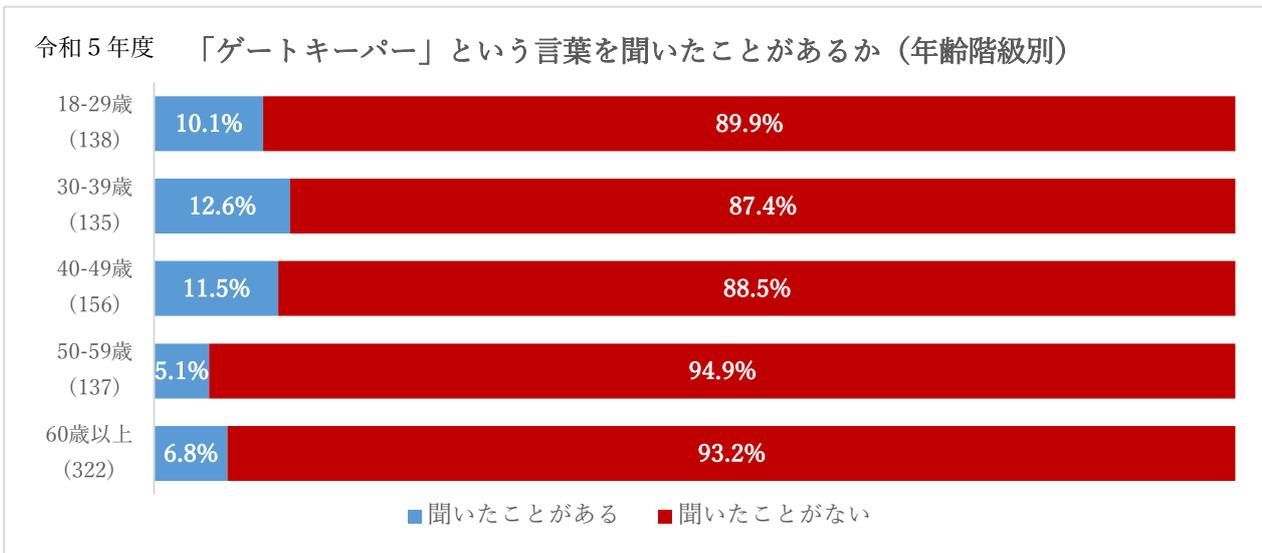
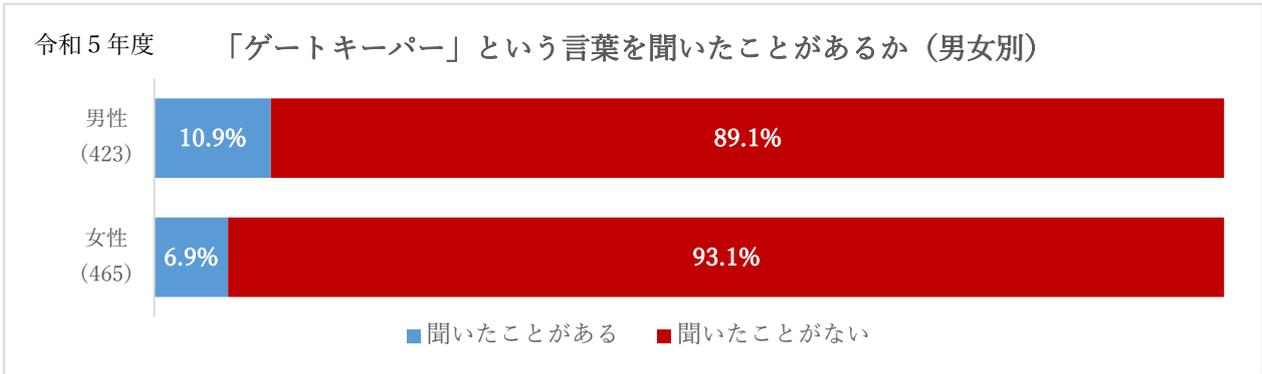
- ・男女別にみた場合、女性は「いのちの電話」(62.3%)が最も高く、男性は「大阪市こころの悩み電話相談」(59.2%)が最も高かった。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「いのちの電話」は60歳以上(68.9%)が最も高く、「大阪市こころの悩み電話相談」は18-29歳(64.7%)で最も高かった。

【問 8】

自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)	女性 (人, %)	男性 (人, %)	女性 (人, %)							
1.聞いたことがある	94	13.7	54	16.3	40	11.2	78	8.8	46	10.9	32	6.9
2.聞いたことがない	594	86.3	278	83.7	316	88.8	810	91.2	377	89.1	433	93.1
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)						
1.聞いたことがある	94	13.7	8	13.3	24	15.8	26	16.6	19	12.2	17	10.4
2.聞いたことがない	594	86.3	52	86.7	128	84.2	131	83.4	137	87.8	146	89.6
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)						
1.聞いたことがある	78	8.8	14	10.1	17	12.6	18	11.5	7	5.1	22	6.8
2.聞いたことがない	810	91.2	124	89.9	118	87.4	138	88.5	130	94.9	300	93.2
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・ゲートキーパーという言葉聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある(8.8%)」は、前回に比べて4.9ポイント減少した。

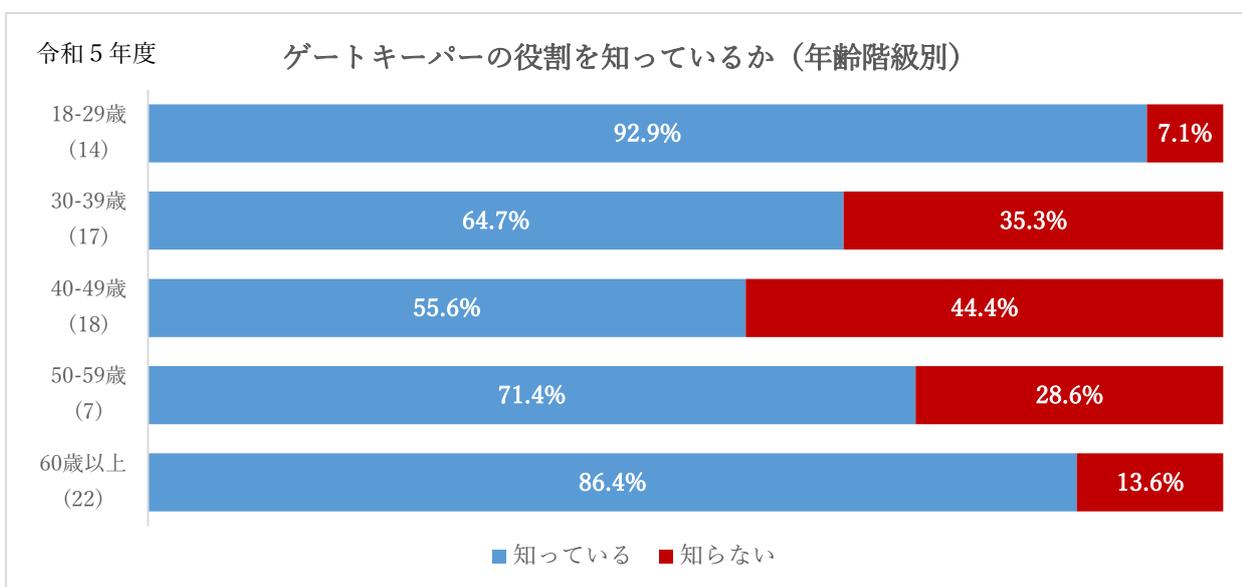
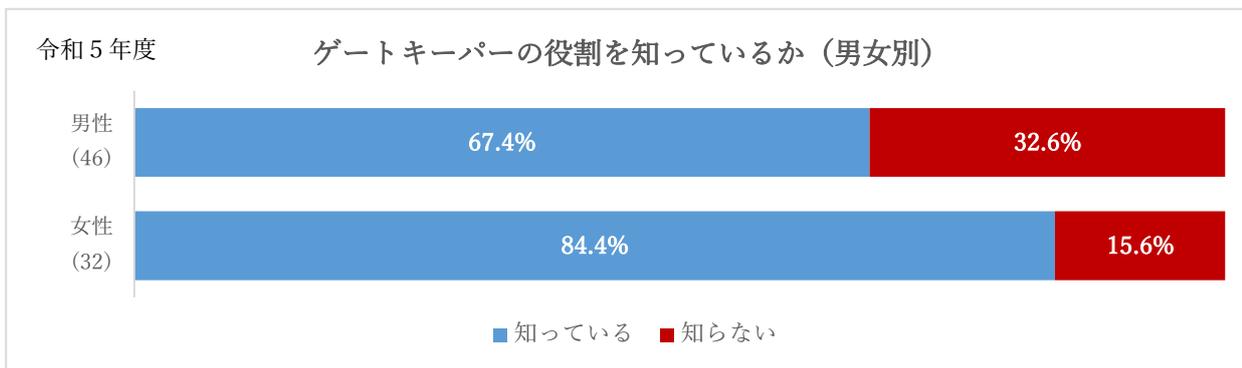
●性別による傾向

・男女別にみた場合、「聞いたことがある」は、男性(10.9%)、女性(6.9%)となり、それぞれ5.4ポイント、4.3ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、50歳以上の階級ではいずれも「聞いたことがない」は90%以上を占め、それぞれ7.1ポイント、3.6ポイント増加した。一方、「聞いたことがある」はいずれの階級においても減少した。

【問9】 (問8で「1. 聞いたことがある」を選ばれた方のみお答えください。)  
自殺対策における「ゲートキーパー」の役割を知っていますか。



◎前回調査との比較

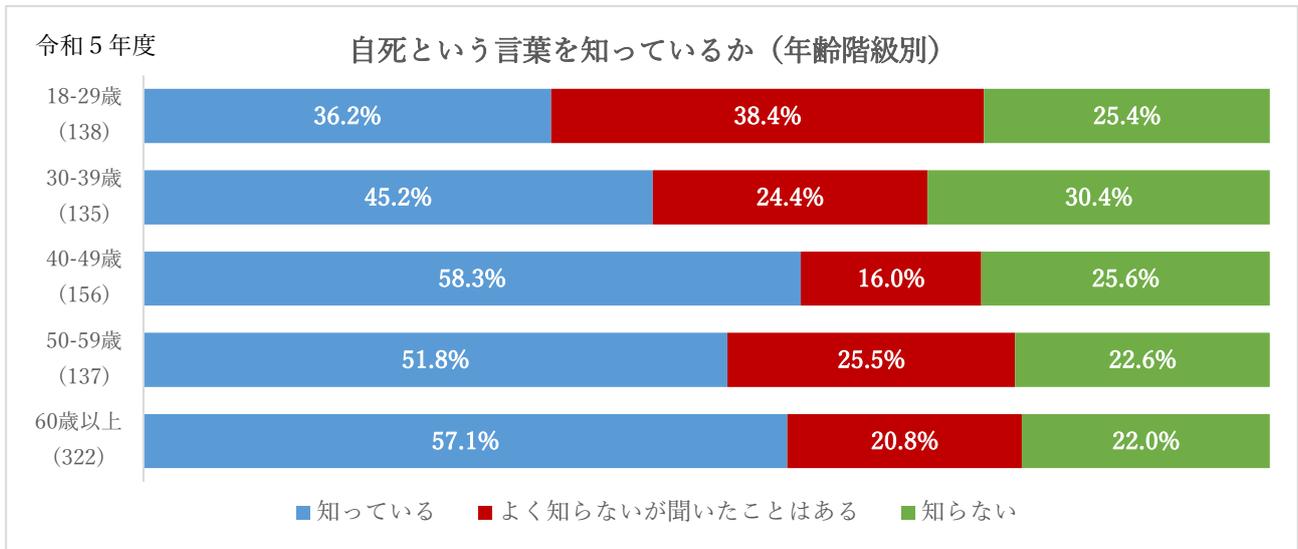
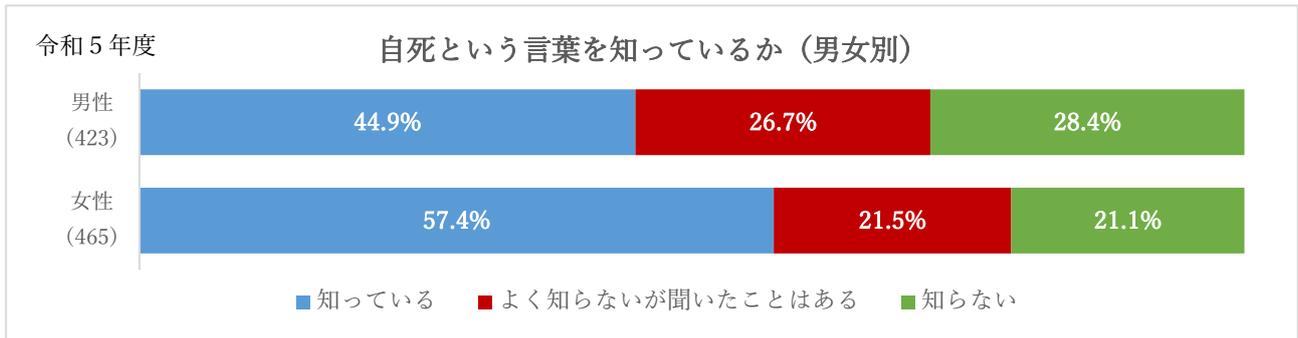
(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)	女性 (人, %)	男性 (人, %)	女性 (人, %)							
1.知っている	73	77.7	42	77.8	31	77.5	58	74.4	31	67.4	27	84.4
2.知らない	21	22.3	12	22.2	9	22.5	20	25.6	15	32.6	5	15.6
合計	94	100.0	54	100.0	40	100.0	78	100.0	46	100.0	32	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)						
1.知っている	73	77.7	6	75.0	19	79.2	19	73.1	16	84.2	13	76.5
2.知らない	21	22.3	2	25.0	5	20.8	7	26.9	3	15.8	4	23.5
合計	94	100.0	8	100.0	24	100.0	26	100.0	19	100.0	17	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)						
1.知っている	58	74.4	13	92.9	11	64.7	10	55.6	5	71.4	19	86.4
2.知らない	20	25.6	1	7.1	6	35.3	8	44.4	2	28.6	3	13.6
合計	78	100.0	14	100.0	17	100.0	18	100.0	7	100.0	22	100.0

- 全体との傾向
  - ・ゲートキーパーという言葉聞いたことがあるかについて「知っている」と回答された方に、その役割を知っているかたずねたところ、「知っている (74.4%)」は、前回に比べて3.3ポイント減少した。
- 性別による傾向
  - ・男女別にみた場合、「知っている」は、男性 (67.4%) では10.4ポイント減少したのに対して、女性 (84.4%) では6.9ポイント増加した。
- 年齢階級別による傾向
  - ・年齢階級別にみた場合、「知っている」の29歳以下 (92.9%)、および60歳以上 (86.4%) では、前回に比べてそれぞれ、17.9ポイント、9.9ポイント増加した。

【問10】

あなたは「自死」という言葉を知っていますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.知っている	205	29.8	94	28.3	111	31.2	457	51.5	190	44.9	267	57.4
2.よく知らないが聞いたことはある	147	21.4	72	21.7	75	21.1	213	24.0	113	26.7	100	21.5
3.知らない	336	48.8	166	50.0	170	47.8	218	24.5	120	28.4	98	21.1
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.1	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.知っている	205	29.8	8	13.3	37	24.3	51	32.5	48	30.8	61	37.4
2.よく知らないが聞いたことはある	147	21.4	14	23.3	30	19.7	35	22.3	37	23.7	31	19.0
3.知らない	336	48.8	38	63.3	85	55.9	71	45.2	71	45.5	71	43.6
合計	688	100.0	60	99.9	152	99.9	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.知っている	457	51.5	50	36.2	61	45.2	91	58.3	71	51.8	184	57.1
2.よく知らないが聞いたことはある	213	24.0	53	38.4	33	24.4	25	16.0	35	25.5	67	20.8
3.知らない	218	24.5	35	25.4	41	30.4	40	25.6	31	22.6	71	22.0
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	99.9	137	99.9	322	99.9

●全体との傾向

・自死という言葉を知っているかについて、「知っている (51.5%)」は、前回に比べて21.7ポイント増加した。

●性別による傾向

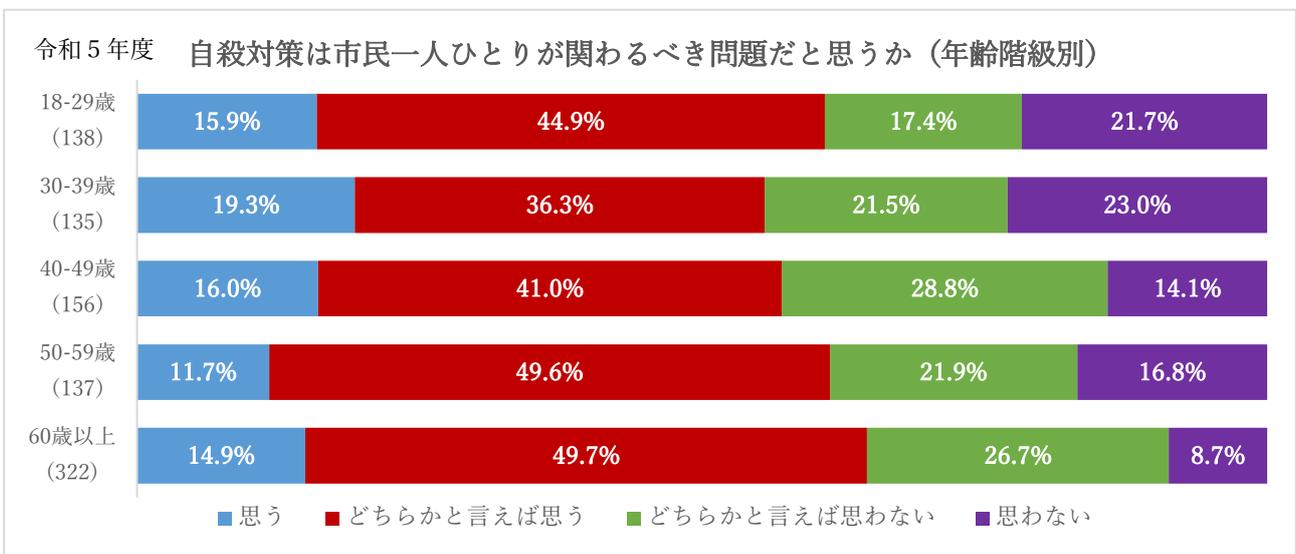
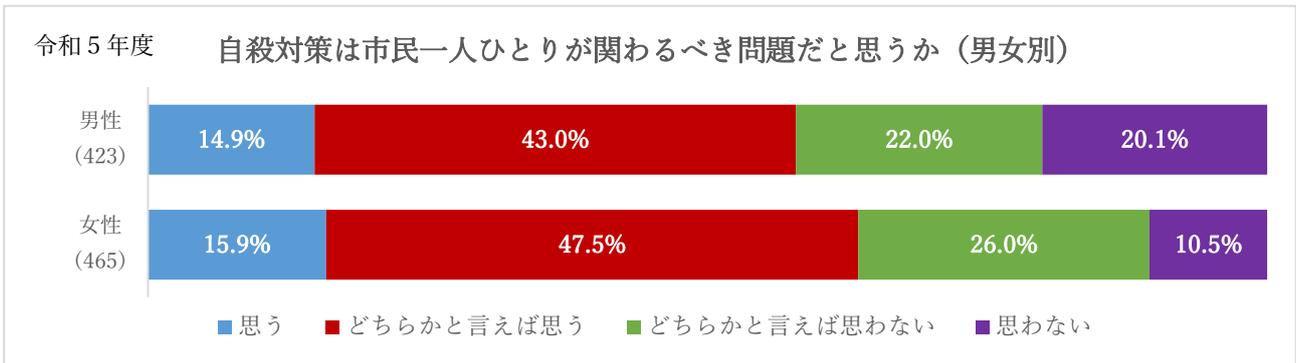
・男女別にみた場合、「知っている」は、男性 (44.9%)、女性 (57.4%)となっており、それぞれ16.6ポイント、26.2ポイント増加した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合も、いずれの階級でも前回に比べて「知っている」は増加した。一方、「知らない」はいずれの階級でも前回に比べて減少した。

【問 1 1】

自殺対策は市民一人ひとりが関わるべき問題だと思いますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.思う	192	27.9	99	29.8	93	26.1	137	15.4	63	14.9	74	15.9
2.どちらかと言えば思う	266	38.7	123	37.0	143	40.2	403	45.4	182	43.0	221	47.5
3.どちらかと言えば思わない	93	13.5	42	12.7	51	14.3	214	24.1	93	22.0	121	26.0
4.思わない	56	8.1	33	23.0	23	6.5	134	15.1	85	20.1	49	10.5
5.どちらともいえない	78	11.3	33	9.9	45	12.6		0.0		0.0		0.0
6.答えたくない	3	0.4	2	0.6	1	0.3		0.0		0.0		0.0
合計	688	99.9	332	113.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	99.9

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.思う	192	27.9	19	31.7	43	28.3	50	31.8	45	28.8	35	21.5
2.どちらかと言えば思う	266	38.7	21	35.0	66	43.4	64	40.8	57	36.5	58	35.6
3.どちらかと言えば思わない	93	13.5	8	13.3	21	13.8	19	12.1	23	14.7	22	13.5
4.思わない	56	8.1	6	10.0	11	7.2	9	5.7	9	5.8	21	12.9
5.どちらともいえない	78	11.3	5	8.3	11	7.2	15	9.6	20	12.8	27	16.6
6.答えたくない	3	0.4	1	1.7	0	0.0	0	0.0	2	1.3	0	0.0
合計	688	99.9	60	100.0	152	99.9	157	100.0	156	99.9	163	100.1
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.思う	137	15.4	22	15.9	26	19.3	25	16.0	16	11.7	48	14.9
2.どちらかと言えば思う	403	45.4	62	44.9	49	36.3	64	41.0	68	49.6	160	49.7
3.どちらかと言えば思わない	214	24.1	24	17.4	29	21.5	45	28.8	30	21.9	86	26.7
4.思わない	134	15.1	30	21.7	31	23.0	22	14.1	23	16.8	28	8.7
5.どちらともいえない		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
6.答えたくない		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
合計	888	100.0	138	99.9	135	100.1	156	99.9	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・自殺対策は市民一人ひとりが関わるべき問題だと思うかについて、「どちらかと言えば思う（45.4）」が最も多い傾向は変わらず、前回に比べて6.7ポイント増加した。

●性別による傾向

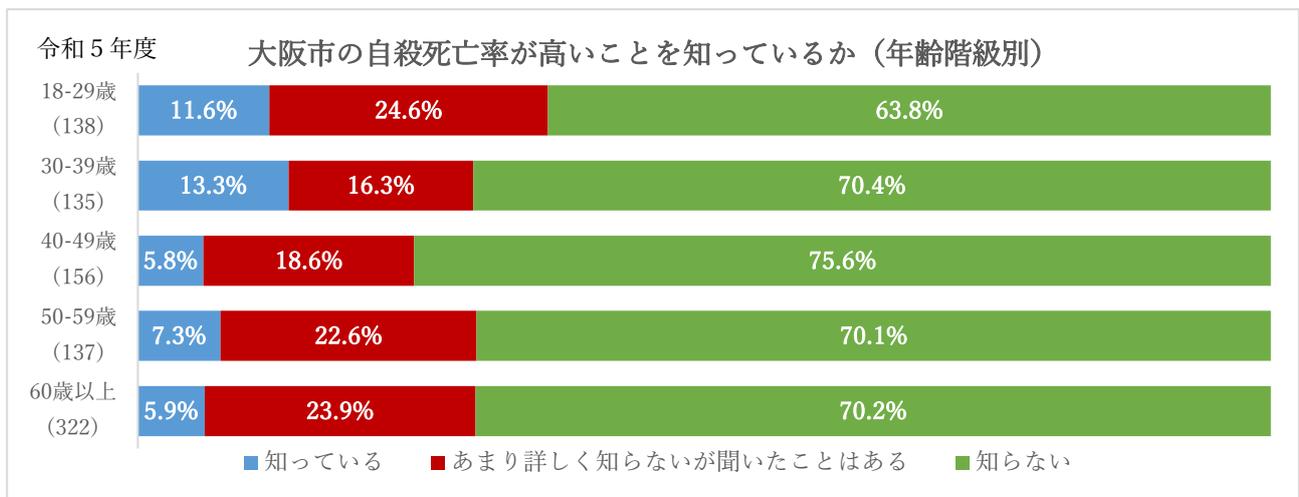
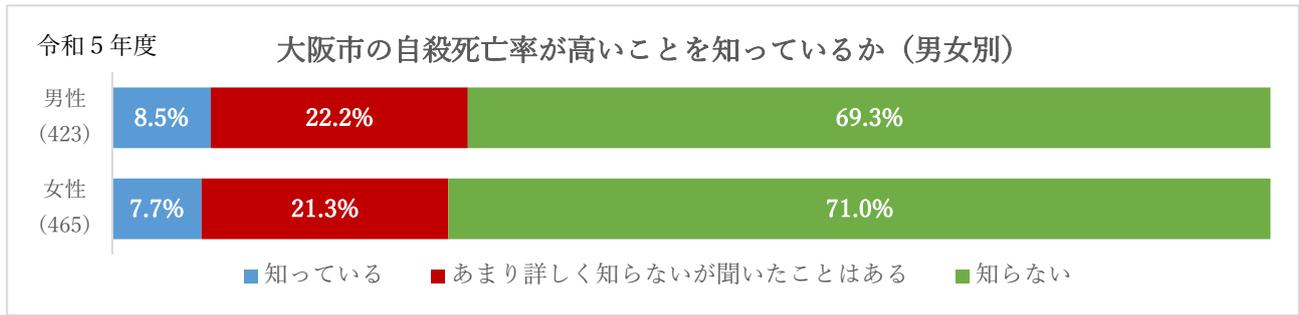
・男女別にみた場合、「どちらかと言えばそう思う」は、男性（43.0%）、女性（47.5%）となっており、それぞれ6.0ポイント、7.3ポイント増加した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「どちらかと言えばそう思う」は、30歳代（36.3%）以外のすべての階級において、前回に比べて増加した。

【問12】

大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国値より高いことを知っていますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.知っている	102	14.8	58	17.5	44	12.4	72	8.1	36	8.5	36	7.7
2.あまり詳しく知らないが聞いたことはある	162	23.5	90	27.1	72	20.2	193	21.7	94	22.2	99	21.3
3.知らない	424	61.6	184	55.4	240	67.4	623	70.2	293	69.3	330	71.0
合計	688	99.9	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.知っている	102	14.8	8	13.3	20	13.2	20	12.7	25	16.0	29	17.8
2.あまり詳しく知らないが聞いたことはある	162	23.5	11	18.3	22	14.5	34	21.7	37	23.7	58	35.6
3.知らない	424	61.6	41	68.3	110	72.4	103	65.6	94	60.3	76	46.6
合計	688	99.9	60	99.9	152	100.1	157	100.0	156	100.0	163	100.0

(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.知っている	72	8.1	16	11.6	18	13.3	9	5.8	10	7.3	19	5.9
2.あまり詳しく知らないが聞いたことはある	193	21.7	34	24.6	22	16.3	29	18.6	31	22.6	77	23.9
3.知らない	623	70.2	88	63.8	95	70.4	118	75.6	96	70.1	226	70.2
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国値より高いことを知っているかについて、「知っている(8.1%)」は前回に比べて6.7%減少し、「知らない(70.2%)」が8.6ポイント増加した。

●性別による傾向

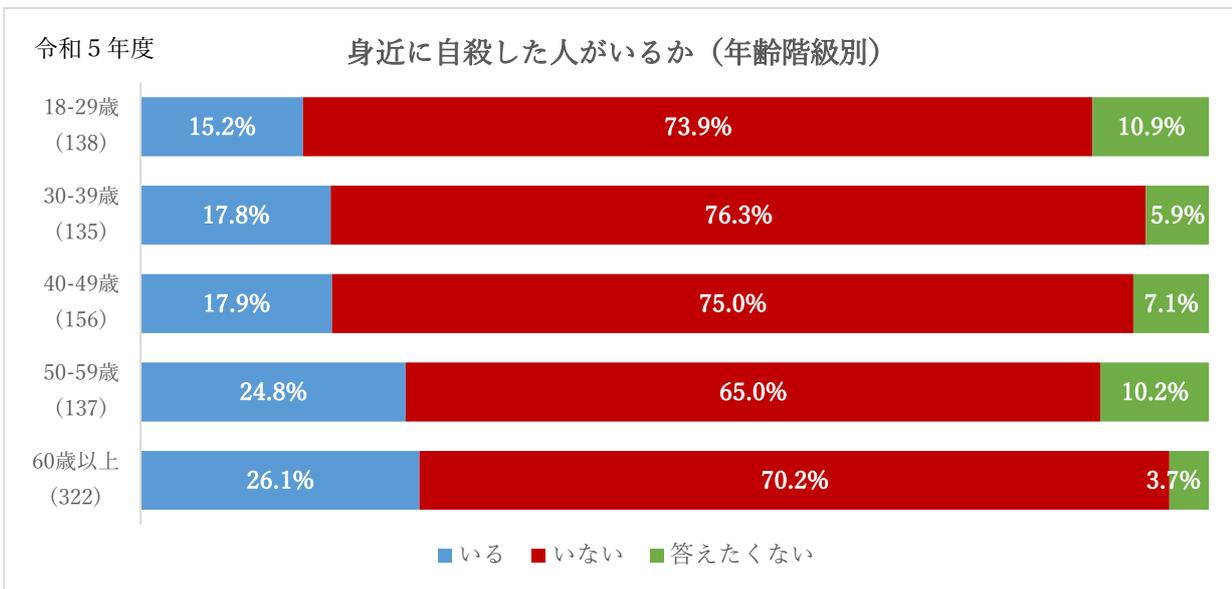
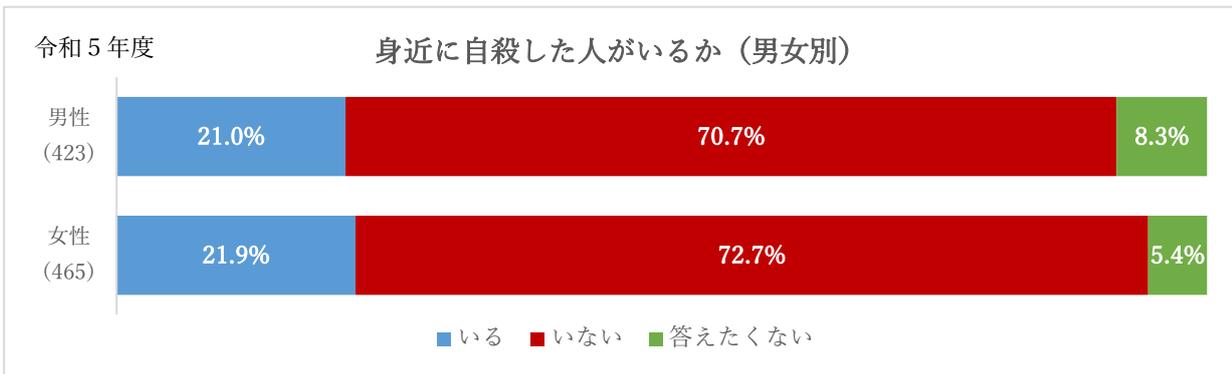
・男女別にみた場合も同様の傾向がみられ、「知らない」は、男性(69.3%)、女性(71.0%)のいずれも前回に比べて、それぞれ13.9ポイント、3.6ポイント増加した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「知っている」が最も多かったのは30歳代(13.3%)、「知らない」が最も多かったのは40歳代(75.6%)となっており、年齢階級による認知度の違いが明らかとなった。

【問13】

これまでのあなたの人生の中で、親族や友人・知人などが自殺をされた方が身近にいますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.いる	244	35.5	126	38.0	118	33.1	191	21.5	89	21.0	102	21.9
2.いない	430	62.5	196	59.0	234	65.7	637	71.7	299	70.7	338	72.7
3.答えたくない	14	2.0	10	3.0	4	1.1	60	6.8	35	8.3	25	5.4
合計	688	100.0	332	100.0	356	99.9	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.いる	244	35.5	18	30.0	43	28.3	64	40.8	59	37.8	60	36.8
2.いない	430	62.5	41	68.3	107	70.4	91	58.0	89	57.1	102	62.6
3.答えたくない	14	2.0	1	1.7	2	1.3	2	1.3	8	5.1	1	0.6
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.1	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.いる	191	21.5	21	15.2	24	17.8	28	17.9	34	24.8	84	26.1
2.いない	637	71.7	102	73.9	103	76.3	117	75.0	89	65.0	226	70.2
3.答えたくない	60	6.8	15	10.9	8	5.9	11	7.1	14	10.2	12	3.7
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・身近に自殺した人がいるかについて、「いる (21.5%)」は、前回に比べて14.0ポイント減少した。

●性別による傾向

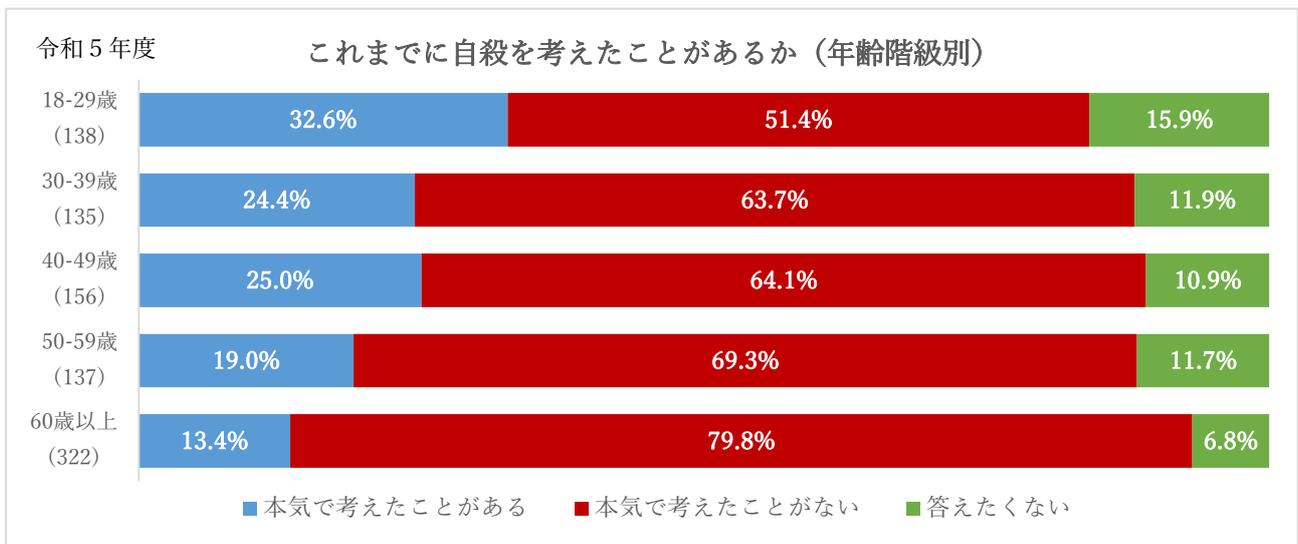
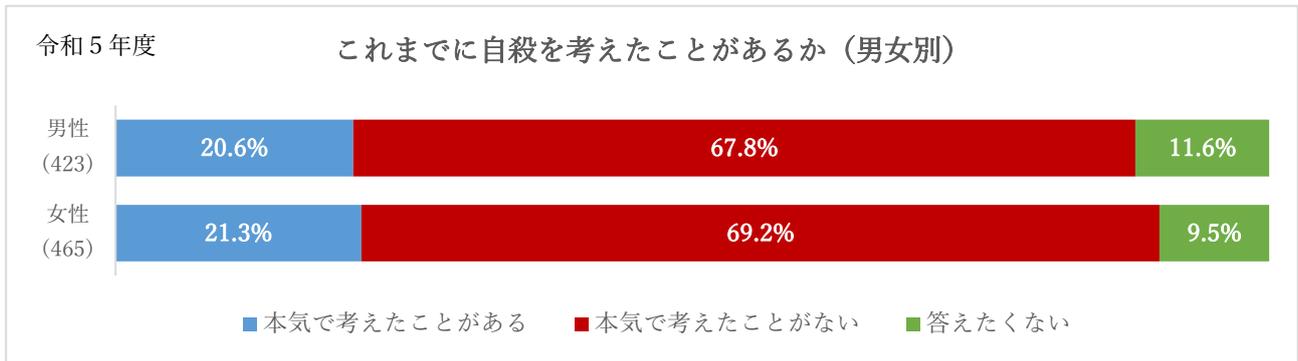
・男女別にみた場合も、「いる」と答えた男性 (21.0%)、女性 (21.9%) のいずれも、それぞれ17.0ポイント、11.2ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合も、自殺者が身近に「いる」は、全ての階級で前回に比べて減少した。

【問14】

あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.本気で考えたことがある	208	30.2	85	25.6	123	34.6	186	20.9	87	20.6	99	21.3
2.本気で考えたことがない	445	64.7	231	69.6	214	60.1	609	68.6	287	67.8	322	69.2
3.答えたくない	35	5.1	16	4.8	19	5.3	93	10.5	49	11.6	44	9.5
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

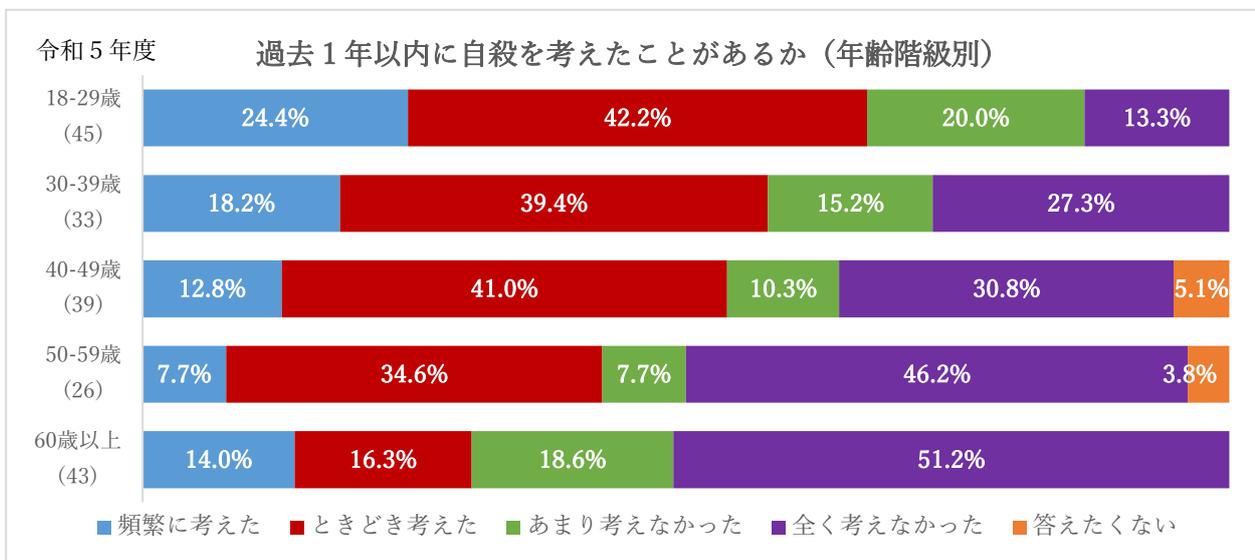
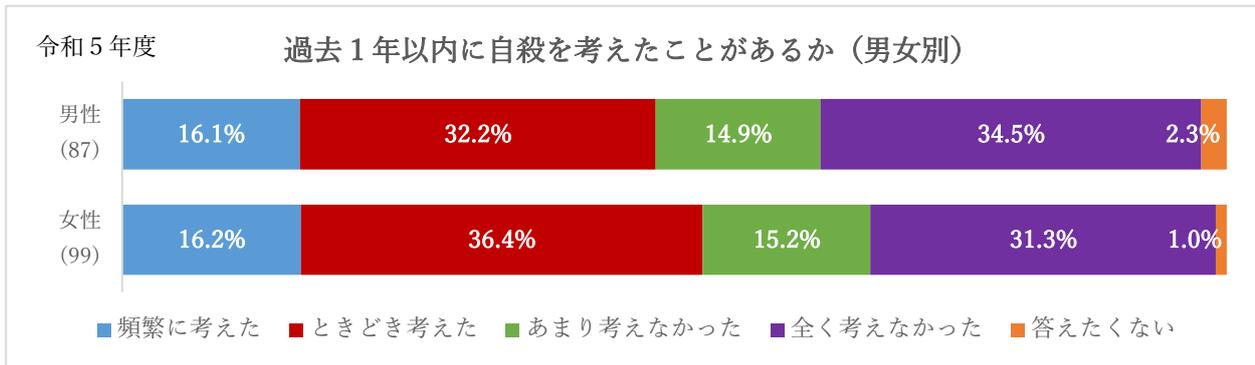
(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.本気で考えたことがある	208	30.2	22	36.7	51	33.6	50	31.8	49	31.4	36	22.1
2.本気で考えたことがない	445	64.7	33	55.0	92	60.5	99	63.1	99	63.5	122	74.8
3.答えたくない	35	5.1	5	8.3	9	5.9	8	5.1	8	5.1	5	3.1
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0

(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.本気で考えたことがある	186	20.9	45	32.6	33	24.4	39	25.0	26	19.0	43	13.4
2.本気で考えたことがない	609	68.6	71	51.4	86	63.7	100	64.1	95	69.3	257	79.8
3.答えたくない	93	10.5	22	15.9	16	11.9	17	10.9	16	11.7	22	6.8
合計	888	100.0	138	99.9	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

- 全体との傾向
  - ・これまでに自殺を考えたことがあるかについて、「本気で考えたことがある (20.9%)」は、前回に比べて9.3ポイント減少した。
- 性別による傾向
  - ・男女別にみた場合、「本気で考えたことがある」は、男性 (20.6%)、女性 (21.3%) となっており、いずれも前回に比べて、それぞれ5.0ポイント、13.3ポイント減少した。
- 年齢階級別による傾向
  - ・年齢階級別にみた場合も、「本気で考えたことがある」は全ての階級で減少しており、最も減少幅が大きかったのは50歳代(19.0%)で、12.4ポイント減少した。

【問15】（問14で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。）  
過去1年以内に、自殺したいと考えたことはありますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.頻繁に考えた	10	4.8	5	5.9	5	4.1	30	16.1	14	16.1	16	16.2
2.ときどき考えた	39	18.8	13	15.3	26	21.1	64	34.4	28	32.2	36	36.4
3.あまり考えなかった	38	18.3	16	18.8	22	17.9	28	15.1	13	14.9	15	15.2
4.全く考えなかった	114	54.8	49	57.6	65	52.8	61	32.8	30	34.5	31	31.3
5.答えたくない	7	3.4	2	2.4	5	4.1	3	1.6	2	2.3	1	1.0
合計	208	100.1	85	100.0	123	100.0	186	100.0	87	100.0	99	100.1

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.頻繁に考えた	10	4.8	1	4.5	3	5.9	3	6.0	3	6.1	0	0.0
2.ときどき考えた	39	18.8	3	13.6	6	11.8	12	24.0	13	26.5	5	13.9
3.あまり考えなかった	38	18.3	6	27.3	13	25.5	8	16.0	9	18.4	2	5.6
4.全く考えなかった	114	54.8	10	45.5	27	52.9	27	54.0	23	46.9	27	75.0
5.答えたくない	7	3.4	2	9.1	2	3.9	0	0.0	1	2.0	2	5.6
合計	208	100.1	22	100.0	51	100.0	50	100.0	49	99.9	36	100.1
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)	
1.頻繁に考えた	30	16.1	11	24.4	6	18.2	5	12.8	2	7.7	6	14.0
2.ときどき考えた	64	34.4	19	42.2	13	39.4	16	41.0	9	34.6	7	16.3
3.あまり考えなかった	28	15.1	9	20.0	5	15.2	4	10.3	2	7.7	8	18.6
4.全く考えなかった	61	32.8	6	13.3	9	27.3	12	30.8	12	46.2	22	51.2
5.答えたくない	3	1.6	0	0.0	0	0.0	2	5.1	1	3.8	0	0.0
合計	186	100.0	45	99.9	33	100.1	39	100.0	26	100.0	43	100.1

●全体との傾向

・これまでに自殺を考えたことがあるかについて、「本気で考えたことがある」と回答した方に過去1年以内に自殺を考えたことがあるかたずねたところ、過去1年以内に自殺したいと「頻繁に考えた」「ときどき考えた」は合わせて50.5%を占めており、前回に比べて26.9ポイント増加した。

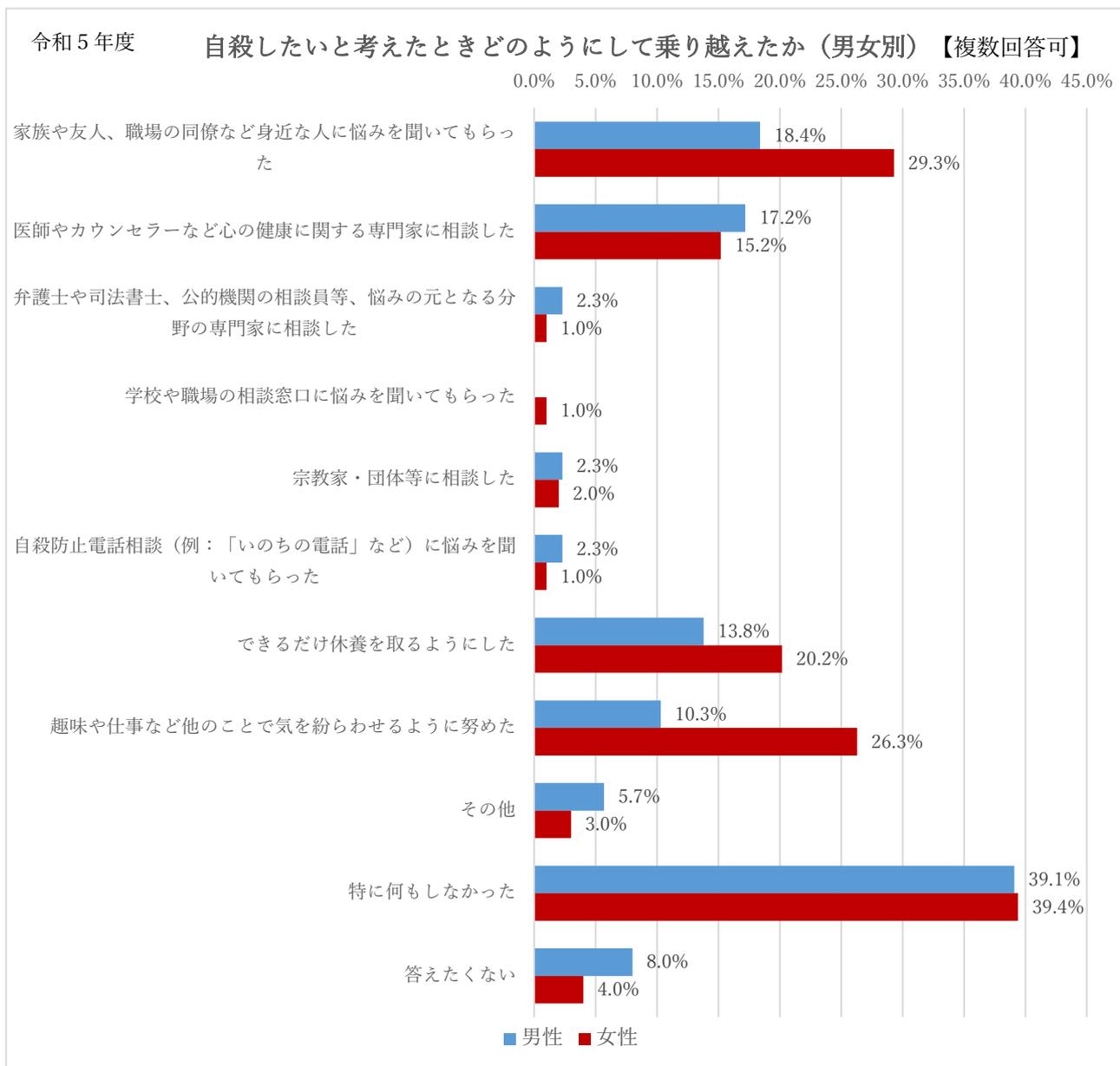
●性別による傾向

・男女別にみた場合、「頻繁に考えた」「ときどき考えた」を合わせると、男性(48.3%)、女性(52.6%)となっており、前回に比べて、それぞれ27.1ポイント、27.4ポイントと大幅に増加した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「頻繁に考えた」「ときどき考えた」を合わせた割合は、全ての年齢階級で増加しており、特に29歳以下(66.6%)では前回に比べて48.5ポイントと大幅に増加した。

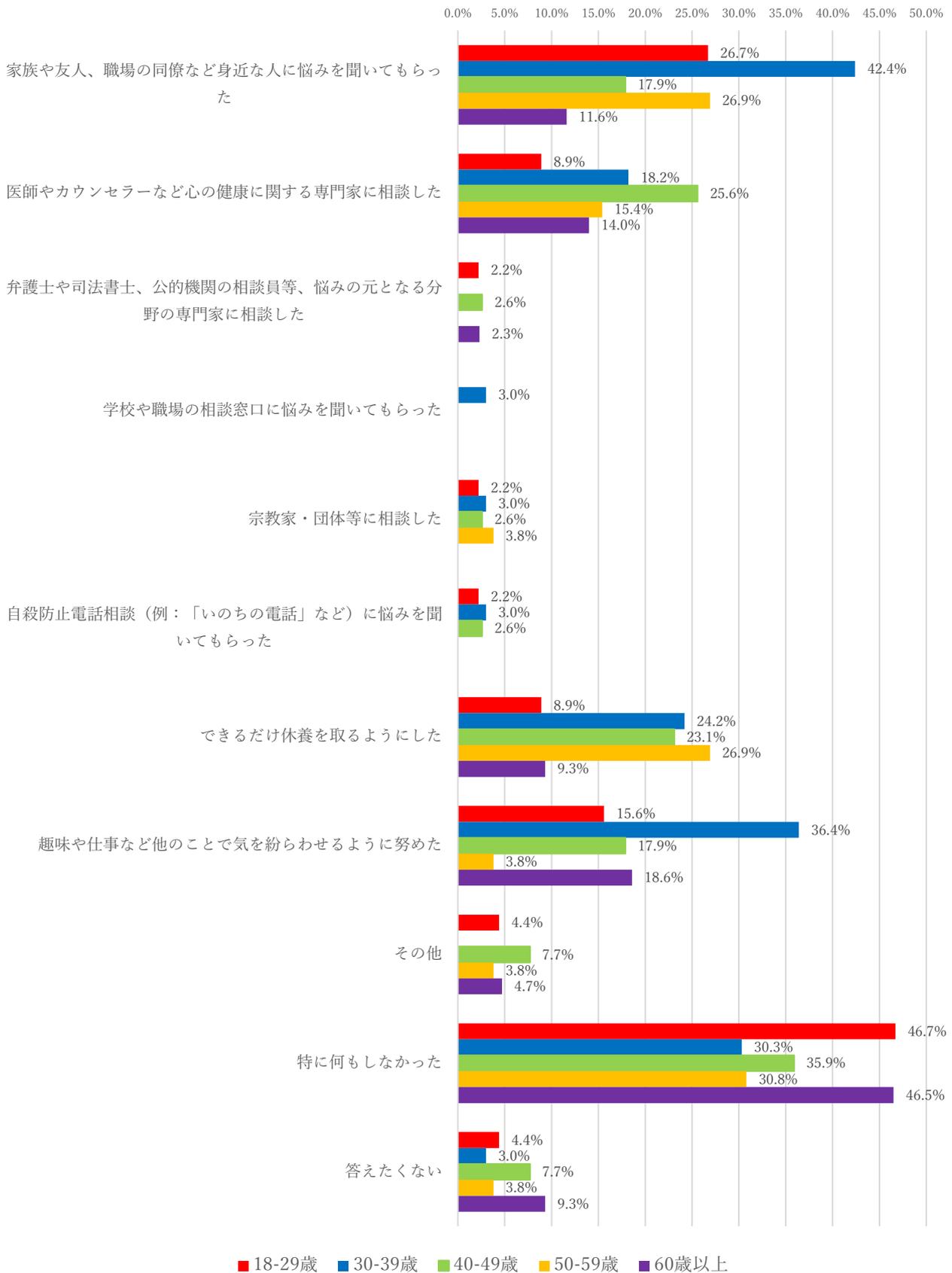
【問16】（問14で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。）  
 そのように考えたとき、どのようにされましたか。当てはまるものをすべて選択してください。



令和5年度

自殺したいと考えたときどのようにして乗り越えたか（年齢階級別）

【複数回答可】



◎前回調査との比較

【複数回答可】

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	63	30.3	24	28.2	39	31.7	45	24.2	16	18.4	29	29.3
2.医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	31	14.9	17	20.0	14	11.4	30	16.1	15	17.2	15	15.2
3.弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	3	1.4	3	3.5	0	0.0	3	1.6	2	2.3	1	1.0
4.学校や職場の相談窓口に悩みを聞いてもらった		0.0		0.0		0.0	1	0.5	0	0.0	1	1.0
5.宗教家・団体等に相談した		0.0		0.0		0.0	4	2.2	2	2.3	2	2.0
6.自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)に悩みを聞いてもらった		0.0		0.0		0.0	3	1.6	2	2.3	1	1.0
7.できるだけ休養を取るようにした	52	25.0	28	32.9	24	19.5	32	17.2	12	13.8	20	20.2
8.趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	79	38.0	39	45.9	40	32.5	35	18.8	9	10.3	26	26.3
9.その他	24	11.5	9	10.6	15	12.2	8	4.3	5	5.7	3	3.0
10.特に何もなかった	55	26.4	18	21.2	37	30.1	73	39.2	34	39.1	39	39.4
11.答えたくない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	5.9	7	8.0	4	4.0

(回答)	平成29年度											令和5年度												
	全体 (人, %)		年齢階級別										全体 (人, %)		年齢階級別									
			18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)	18-29歳 (人, %)	30-39歳 (人, %)	40-49歳 (人, %)	50-59歳 (人, %)	60歳以上 (人, %)												
1.家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	63	30.3	8	36.4	19	37.3	17	34.0	14	28.6	5	13.9	45	24.2	12	26.7	14	42.4	7	17.9	7	26.9	5	11.6
2.医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	31	14.9	5	22.7	6	11.8	8	16.0	9	18.4	3	8.3	30	16.1	4	8.9	6	18.2	10	25.6	4	15.4	6	14.0
3.弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	3	1.4	0	0.0	1	2.0	0	0.0	2	4.1	0	0.0	3	1.6	1	2.2	0	0.0	1	2.6	0	0.0	1	2.3
4.学校や職場の相談窓口に悩みを聞いてもらった		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	1	0.5	0	0.0	1	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5.宗教家・団体等に相談した		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	4	2.2	1	2.2	1	3.0	1	2.6	1	3.8	0	0.0
6.自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)に悩みを聞いてもらった		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	3	1.6	1	2.2	1	3.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0
7.できるだけ休養を取るようにした	52	25.0	6	27.3	15	29.4	10	20.0	16	32.7	5	13.9	32	17.2	4	8.9	8	24.2	9	23.1	7	26.9	4	9.3
8.趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	79	38.0	7	31.8	17	33.3	20	40.0	21	42.9	14	38.9	35	18.8	7	15.6	12	36.4	7	17.9	1	3.8	8	18.6
9.その他	24	11.5	4	18.2	6	11.8	7	14.0	3	6.1	4	11.1	8	4.3	2	4.4	0	0.0	3	7.7	1	3.8	2	4.7
10.特に何もなかった	55	26.4	5	22.7	14	27.5	17	34.0	8	16.3	11	30.6	73	39.2	21	46.7	10	30.3	14	35.9	8	30.8	20	46.5
11.答えたくない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	5.9	2	4.4	1	3.0	3	7.7	1	3.8	4	9.3

●全体との傾向

- ・本気で自殺したいと考えたときどのようにして乗り越えたかたずねたところ、「特に何もしなかった（39.2%）」は、前回に比べて12.8ポイント増加した。

●性別による傾向

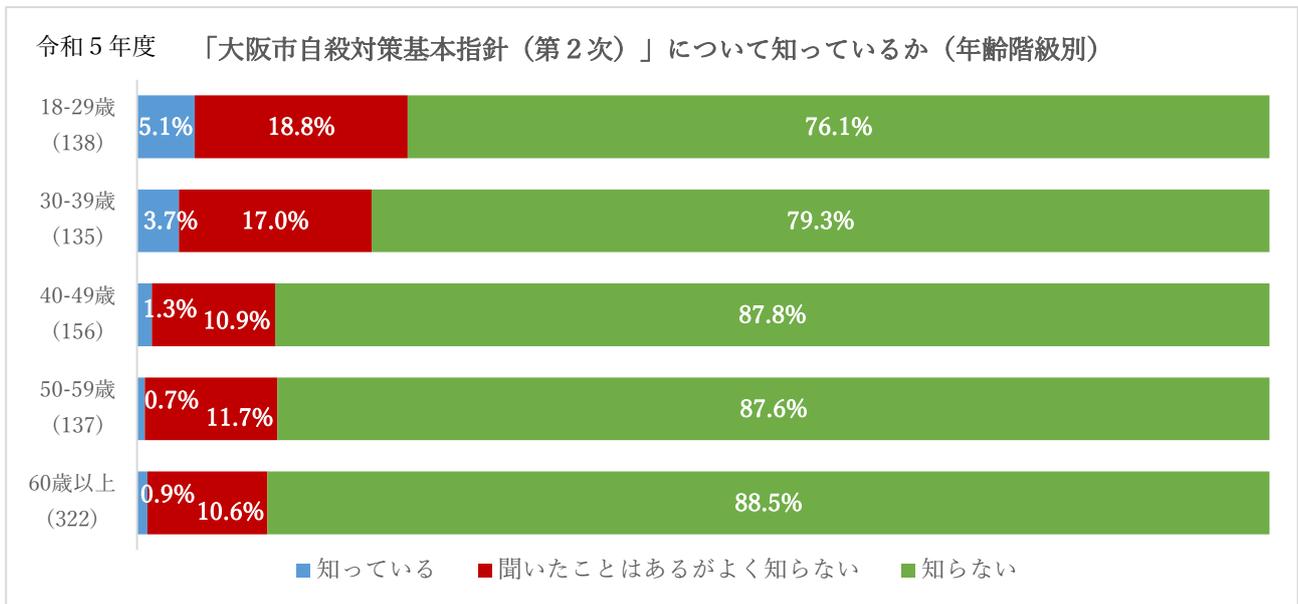
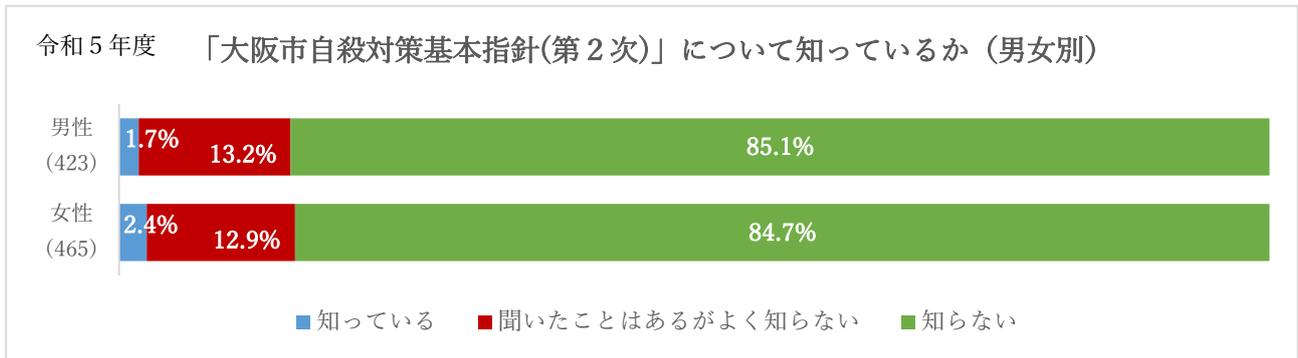
- ・男女別にみた場合、「特に何もしなかった」は、男性（39.1%）、女性（39.4%）のいずれも前回に比べて、それぞれ17.9ポイント、9.3ポイント増加した。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「特に何もしなかった」は全ての年齢階級で増加しており、特に29歳以下（46.7%）では前回に比べて24.0ポイントと大幅に増加した。

【問17】

あなたは「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」について、知っていますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)		女性 (人, %)			男性 (人, %)		女性 (人, %)			
1.知っている	26	3.8	14	4.2	12	3.4	18	2.0	7	1.7	11	2.4
2.聞いたことはあるがよく知らない	73	10.6	36	10.8	37	10.4	116	13.1	56	13.2	60	12.9
3.知らない	589	85.6	282	84.9	307	86.2	754	84.9	360	85.1	394	84.7
合計	688	100.0	332	99.9	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	26	3.8	3	5.0	5	3.3	5	3.2	5	3.2	8	4.9
2.聞いたことはあるがよく知らない	73	10.6	7	11.7	7	4.6	14	8.9	19	12.2	26	16.0
3.知らない	589	85.6	50	83.3	140	92.1	138	87.9	132	84.6	129	79.1
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	18	2.0	7	5.1	5	3.7	2	1.3	1	0.7	3	0.9
2.聞いたことはあるがよく知らない	116	13.1	26	18.8	23	17.0	17	10.9	16	11.7	34	10.6
3.知らない	754	84.9	105	76.1	107	79.3	137	87.8	120	87.6	285	88.5
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

- ・「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」を知っているかについて、「知っている」は2.0%と少なく、さらに前回に比べて1.8ポイント減少した。

●性別による傾向

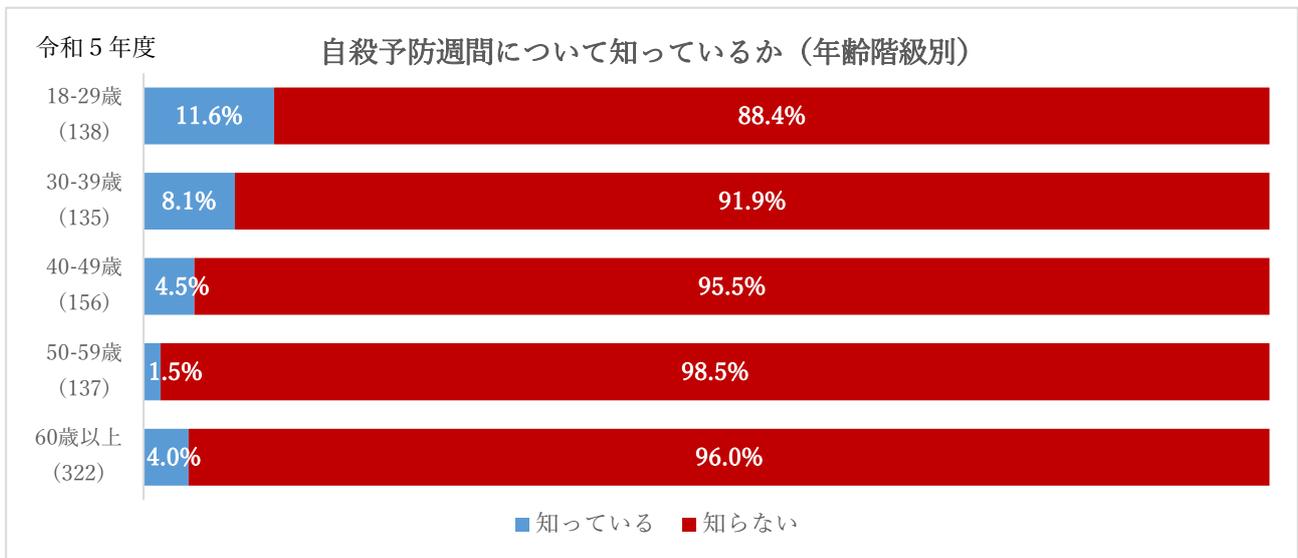
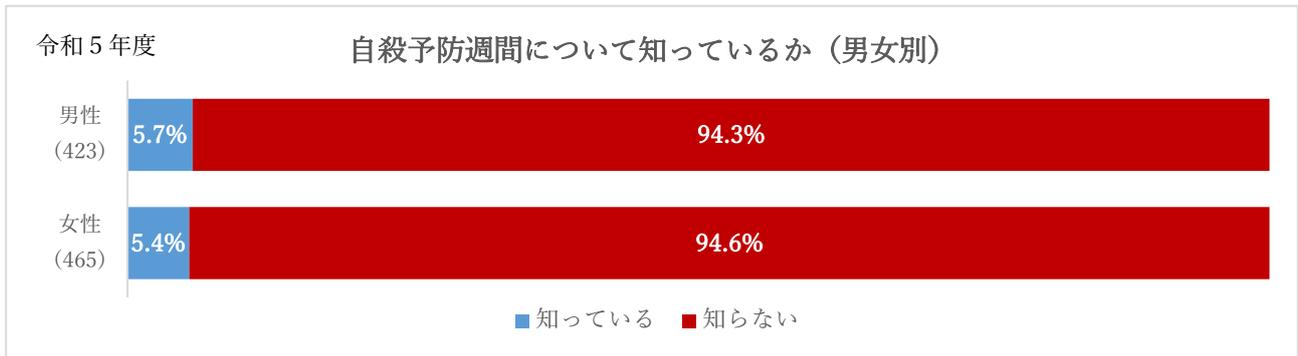
- ・男女別にみた場合、「知っている」は、男性（1.7%）、女性（2.4%）と男性で特に少なく、前回に比べて、それぞれ2.5ポイント、1.0ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「知っている」は、29歳以下（5.1%）および30歳代（3.7%）となっており、前回に比べて、それぞれ0.1ポイント、0.4ポイントと僅かに増えたが、40歳以上の年齢階級ではいずれも減少した。

【問18】

あなたは毎年9月10日から9月16日までが「自殺予防週間」であることを知っていますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)		女性 (人, %)			男性 (人, %)		女性 (人, %)			
1.知っている	49	7.1	21	6.3	28	7.9	49	5.5	24	5.7	25	5.4
2.知らない	639	92.9	311	93.7	328	92.1	839	94.5	399	94.3	440	94.6
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	49	7.1	8	13.3	16	10.5	8	5.1	9	5.8	8	4.9
2.知らない	639	92.9	52	86.7	136	89.5	149	94.9	147	94.2	155	95.1
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	49	5.5	16	11.6	11	8.1	7	4.5	2	1.5	13	4.0
2.知らない	839	94.5	122	88.4	124	91.9	149	95.5	135	98.5	309	96.0
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・自殺予防週間を知っているかについて、「知っている」は5.5%となっており、前回に比べて1.6ポイント減少した。

●性別による傾向

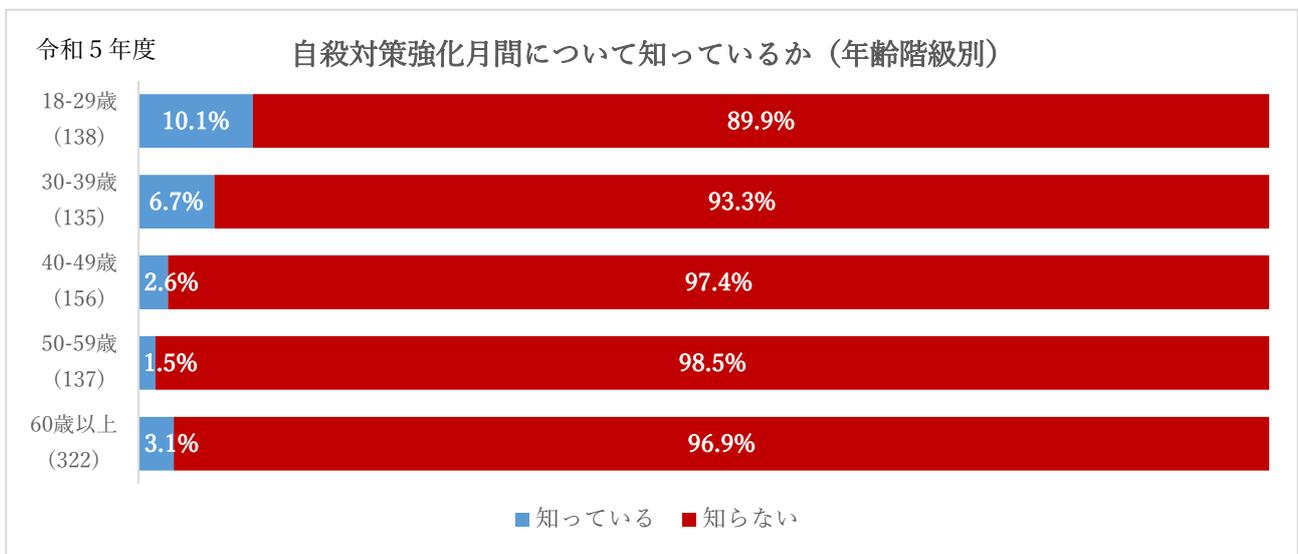
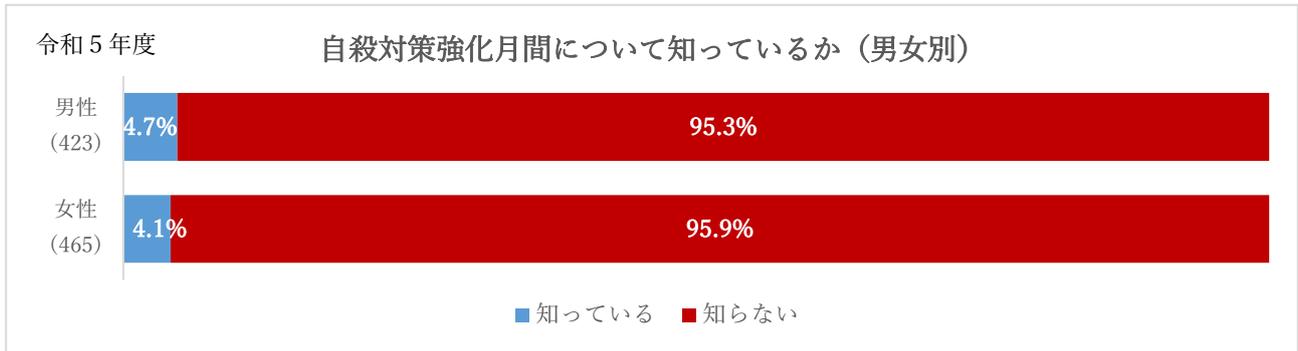
・男女別にみた場合、「知っている」は、男性(5.7%)、女性(5.4%)となっており、前回に比べて、それぞれ0.6ポイント、2.5ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「知っている」は、全ての年齢階級で前回に比べて減少した。

【問19】

あなたは毎年3月が「自殺対策強化月間」であることを知っていますか。



◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)	男女別				全体 (人, %)	男女別					
		男性 (人, %)		女性 (人, %)			男性 (人, %)		女性 (人, %)			
1.知っている	39	5.7	15	4.5	24	6.7	39	4.4	20	4.7	19	4.1
2.知らない	649	94.3	317	95.5	332	93.3	849	95.6	403	95.3	446	95.9
合計	688	100.0	332	100.0	356	100.0	888	100.0	423	100.0	465	100.0

(回答)	平成29年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	39	5.7	6	10.0	10	6.6	7	4.5	6	3.8	10	6.1
2.知らない	649	94.3	54	90.0	142	93.4	150	95.5	150	96.2	153	93.9
合計	688	100.0	60	100.0	152	100.0	157	100.0	156	100.0	163	100.0
(回答)	令和5年度											
	全体 (人, %)	年齢階級別										
		18-29歳 (人, %)		30-39歳 (人, %)		40-49歳 (人, %)		50-59歳 (人, %)		60歳以上 (人, %)		
1.知っている	39	4.4	14	10.1	9	6.7	4	2.6	2	1.5	10	3.1
2.知らない	849	95.6	124	89.9	126	93.3	152	97.4	135	98.5	312	96.9
合計	888	100.0	138	100.0	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.0

●全体との傾向

・自殺対策強化月間を知っているかについて、「知っている」は4.4%となっており、前回に比べて1.3ポイント減少した。

●性別による傾向

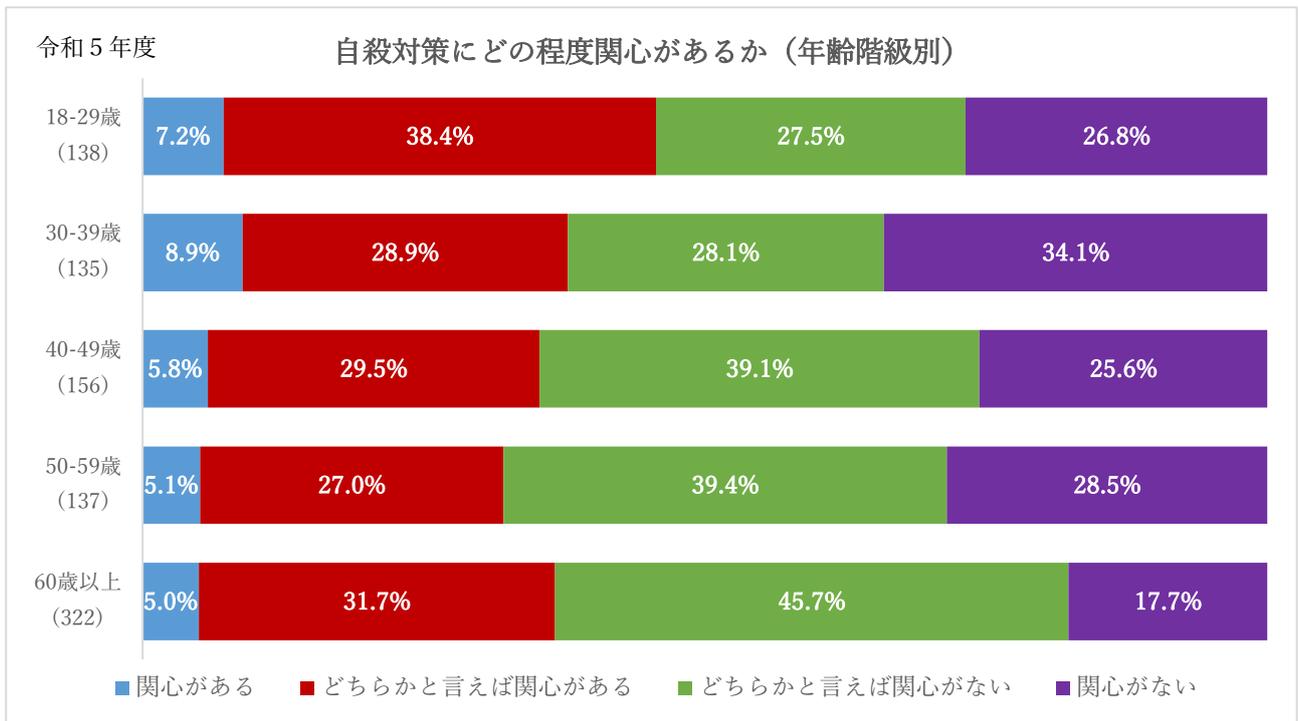
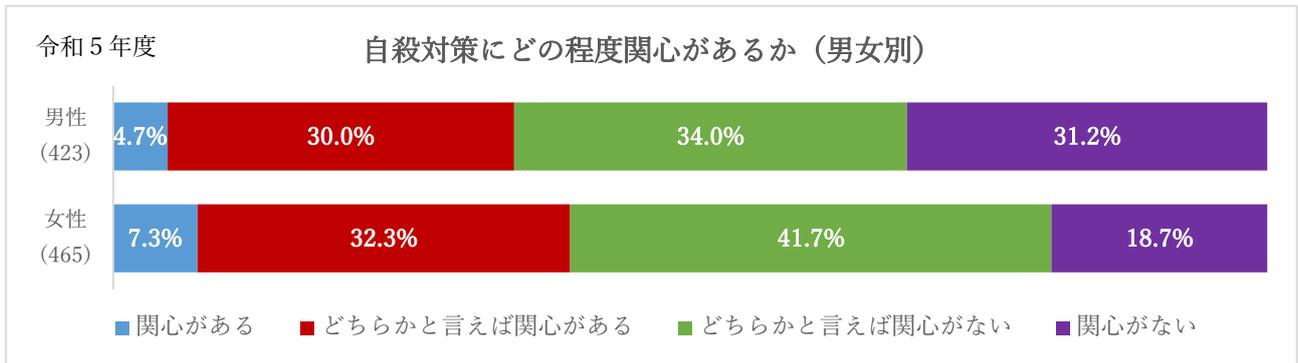
・男女別にみた場合、「知っている」は、男性(4.7%)、女性(4.1%)となっており、前回に比べて、それぞれ0.2ポイント増加し、2.6ポイント減少した。

●年齢階級別による傾向

・年齢階級別にみた場合、「知っている」は、29歳以下(10.1%)および30歳代(6.7%)となっており、前回に比べてどちらも0.1ポイントと僅かに増加したが、40歳以上の年齢階級ではいずれも減少した。

【問20】

あなたは自殺対策にどの程度関心がありますか。



(回答)	全体		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1.関心がある	54	6.1	20	4.7	34	7.3
2.どちらかと言えば関心がある	277	31.2	127	30.0	150	32.3
3.どちらかと言えば関心がない	338	38.1	144	34.0	194	41.7
4.関心がない	219	24.7	132	31.2	87	18.7
合計	888	100.1	423	99.9	465	100.0

(回答)	全体		18-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60歳以上	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1.関心がある	54	6.1	10	7.2	12	8.9	9	5.8	7	5.1	16	5.0
2.どちらかと言えば関心がある	277	31.2	53	38.4	39	28.9	46	29.5	37	27.0	102	31.7
3.どちらかと言えば関心がない	338	38.1	38	27.5	38	28.1	61	39.1	54	39.4	147	45.7
4.関心がない	219	24.7	37	26.8	46	34.1	40	25.6	39	28.5	57	17.7
合計	888	100.1	138	99.9	135	100.0	156	100.0	137	100.0	322	100.1

●全体との傾向

- ・自殺対策にどの程度関心があるかについて、「どちらかと言えば関心がない」(38.1%)が最も高く、次いで「どちらかと言えば関心がある」(31.2%)、「関心がない」(24.7%)、「関心がある」(6.1%)であった。

●性別による傾向

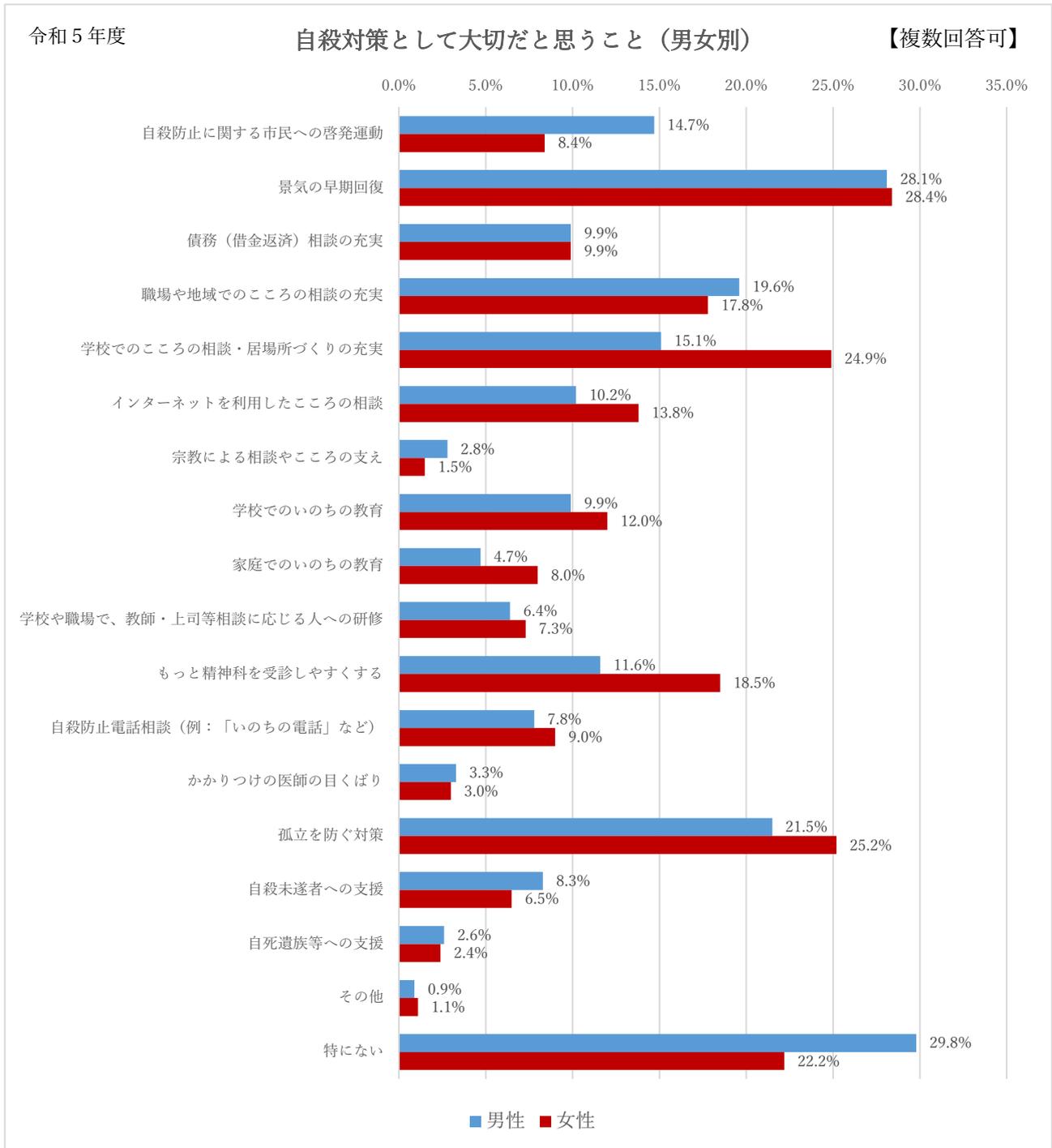
- ・男女別にみた場合、「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」は、男性(34.7%)に比べて女性(39.6%)の方が4.9ポイント高かった。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、「どちらかと言えば関心がない」「関心がない」は、年齢階級が上がるに伴い増加傾向であった。

【問21】

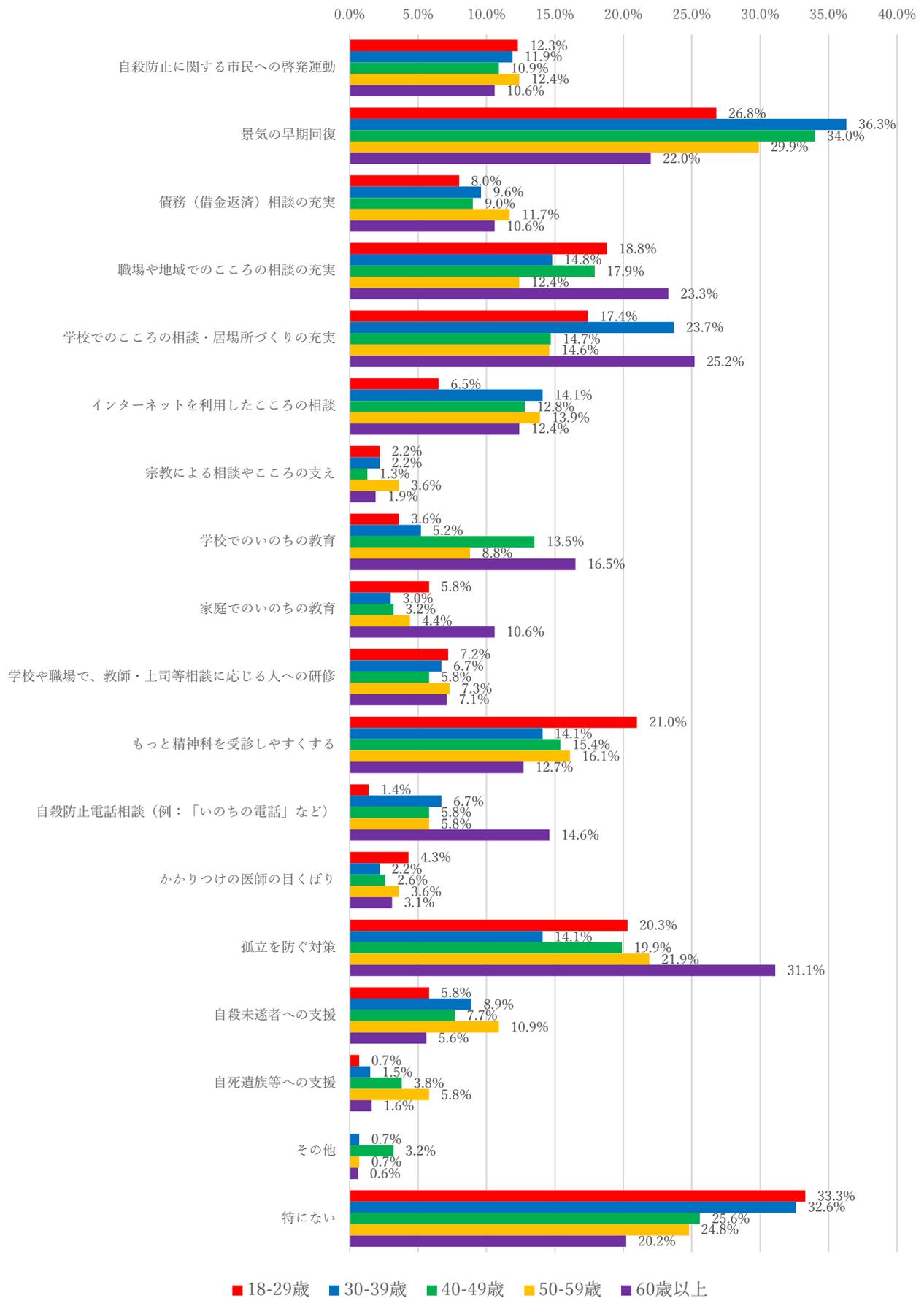
自殺対策として、あなたが大切だと思うことはどのようなものでしょうか。主なものを3つまで選択してください。



令和5年度

自殺対策として大切だと思うこと（年齢階級別）

【複数回答可】



◎前回調査との比較

【複数回答可】

(回答)	平成29年度						令和5年度					
	全体 (人, %)		男女別				全体 (人, %)		男女別			
			男性 (人, %)		女性 (人, %)				男性 (人, %)		女性 (人, %)	
1.自殺防止に関する市民への啓発運動	102	14.8	61	18.4	41	11.5	101	11.4	62	14.7	39	8.4
2.景気の早期回復	186	27.0	97	29.2	89	25.0	251	28.3	119	28.1	132	28.4
3.債務(借金返済)相談の充実	89	12.9	55	16.6	34	9.6	88	9.9	42	9.9	46	9.9
4.職場や地域でのこころの相談の充実	224	32.6	114	34.3	110	30.9	166	18.7	83	19.6	83	17.8
5.学校でのこころの相談・居場所づくりの充実	/	0.0	/	0.0	/	0.0	180	20.3	64	15.1	116	24.9
6.インターネットを利用したこころの相談	128	18.6	60	18.1	68	19.1	107	12.0	43	10.2	64	13.8
7.宗教による相談やこころの支え	23	3.3	14	4.2	9	2.5	19	2.1	12	2.8	7	1.5
8.学校でのいのちの教育	234	34.0	102	30.7	132	37.1	98	11.0	42	9.9	56	12.0
9.家庭でのいのちの教育	130	18.9	53	16.0	77	21.6	57	6.4	20	4.7	37	8.0
10.学校や職場で、教師・上司等相談に応じる人への研修	123	17.9	53	16.0	70	19.7	61	6.9	27	6.4	34	7.3
11.もっと精神科を受診しやすくする	142	20.6	57	17.2	85	23.9	135	15.2	49	11.6	86	18.5
12.自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)	147	21.4	71	21.4	76	21.3	75	8.4	33	7.8	42	9.0
13.かかりつけの医師の目くばり	32	4.7	14	4.2	18	5.1	28	3.2	14	3.3	14	3.0
14.孤立を防ぐ対策	116	16.9	59	17.8	57	16.0	208	23.4	91	21.5	117	25.2
15.自殺未遂者への支援	64	9.3	29	8.7	35	9.8	65	7.3	35	8.3	30	6.5
16.自死遺族等への支援	26	3.8	10	3.0	16	4.5	22	2.5	11	2.6	11	2.4
17.その他	32	4.7	16	4.8	16	4.5	9	1.0	4	0.9	5	1.1
18.特にない	16	2.3	6	1.8	10	2.8	229	25.8	126	29.8	103	22.2

(回答)	平成29年度												令和5年度											
	全体 (人、%)	年齢階級別										全体 (人、%)	年齢階級別											
		18-29歳 (人、%)	30-39歳 (人、%)	40-49歳 (人、%)	50-59歳 (人、%)	60歳以上 (人、%)	18-29歳 (人、%)	30-39歳 (人、%)	40-49歳 (人、%)	50-59歳 (人、%)	60歳以上 (人、%)													
1.自殺防止に関する市民への啓発運動	102	14.8	10	16.7	14	9.2	20	12.7	23	14.7	35	21.5	101	11.4	17	12.3	16	11.9	17	10.9	17	12.4	34	10.6
2.景気の早期回復	186	27.0	16	26.7	48	31.6	44	28.0	41	26.3	37	22.7	251	28.3	37	26.8	49	36.3	53	34.0	41	29.9	71	22.0
3.債務(借金返済)相談の充実	89	12.9	7	11.7	15	9.9	22	14.0	28	17.9	17	10.4	88	9.9	11	8.0	13	9.6	14	9.0	16	11.7	34	10.6
4.職場や地域でのこころの相談の充実	224	32.6	28	46.7	52	34.2	46	29.3	45	28.8	53	32.5	166	18.7	26	18.8	20	14.8	28	17.9	17	12.4	75	23.3
5.学校でのこころの相談・居場所づくりの充実	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	180	20.3	24	17.4	32	23.7	23	14.7	20	14.6	81	25.2
6.インターネットを利用したこころの相談	128	18.6	14	23.3	37	24.3	39	24.8	24	15.4	14	8.6	107	12.0	9	6.5	19	14.1	20	12.8	19	13.9	40	12.4
7.宗教による相談やこころの支え	23	3.3	0	0.0	4	2.6	10	6.4	6	3.8	3	1.8	19	2.1	3	2.2	3	2.2	2	1.3	5	3.6	6	1.9
8.学校でのいのちの教育	234	34.0	16	26.7	57	37.5	51	32.5	44	28.2	66	40.5	98	11.0	5	3.6	7	5.2	21	13.5	12	8.8	53	16.5
9.家庭でのいのちの教育	130	18.9	8	13.3	29	19.1	33	21.0	23	14.7	37	22.7	57	6.4	8	5.8	4	3.0	5	3.2	6	4.4	34	10.6
10.学校や職場で、教師・上司等相談に応じる人への研修	123	17.9	17	28.3	27	17.8	25	15.9	22	14.1	32	19.6	61	6.9	10	7.2	9	6.7	9	5.8	10	7.3	23	7.1
11.もっと精神科を受診しやすくする	142	20.6	15	25.0	33	21.7	37	23.6	33	21.2	24	14.7	135	15.2	29	21.0	19	14.1	24	15.4	22	16.1	41	12.7
12.自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)	147	21.4	11	18.3	26	17.1	30	19.1	42	26.9	38	23.3	75	8.4	2	1.4	9	6.7	9	5.8	8	5.8	47	14.6
13.かかりつけの医師の目くばり	32	4.7	2	3.3	3	2.0	4	2.5	10	6.4	13	8.0	28	3.2	6	4.3	3	2.2	4	2.6	5	3.6	10	3.1
14.孤立を防ぐ対策	116	16.9	2	3.3	16	10.5	21	13.4	32	20.5	45	27.6	208	23.4	28	20.3	19	14.1	31	19.9	30	21.9	100	31.1
15.自殺未遂者への支援	64	9.3	6	10.0	21	13.8	18	11.5	12	7.7	7	4.3	65	7.3	8	5.8	12	8.9	12	7.7	15	10.9	18	5.6
16.自死遺族等への支援	26	3.8	1	1.7	7	4.6	9	5.7	5	3.2	4	2.5	22	2.5	1	0.7	2	1.5	6	3.8	8	5.8	5	1.6
17.その他	32	4.7	3	5.0	7	4.6	7	4.5	10	6.4	5	3.1	9	1.0	0	0.0	1	0.7	5	3.2	1	0.7	2	0.6
18.特にない	16	2.3	1	1.7	1	0.7	2	1.3	6	3.8	6	3.7	229	25.8	46	33.3	44	32.6	40	25.6	34	24.8	65	20.2

●全体との傾向

- ・自殺対策として大切だと思うことについては、「景気の早期回復(28.3%)」が最も高く、次いで「孤立を防ぐ対策(23.4%)」、「学校でのこころの相談・居場所づくりの充実(20.3%)」が高かった。

●性別による傾向

- ・男女別にみた場合、女性では「景気の早期回復」、「孤立を防ぐ対策」が高かった。前回に比べて、「職場や地域でのこころの相談の充実」、「学校や家庭でのいのちの教育」、「自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)」は男女とも大幅に減少した。

●年齢階級別による傾向

- ・年齢階級別にみた場合、60歳以上の階級を除く全ての階級で「景気の早期回復」が最も高いのに対して、60歳以上は「孤立を防ぐ対策(31.1%)」が最も高かった。
- ・前回、各年齢階級で最も高かった「職場や地域でのこころの相談の充実」、「学校でのいのちの教育」は、今回すべての年齢階級において減少した。一方、今回新設した「学校でのこころの相談・居場所づくりの充実」は、各年齢階級において14%以上と高かった。

【問22】

「大阪市の自殺対策」について、ご意見がございましたらご自由にお書きください。

●156名の方からご意見いただきました。

自殺防止に関すること	60件
【主なご意見】	
相談場所の充実を図ってほしい	19件
社会全体で取り組むべき	5件
自治体の自殺対策だけでは限界がある	5件
設備・ハードを充実させてほしい	5件
労働環境を改善すべき	4件
理由や傾向を分析・把握すべき	6件
啓発に関すること	26件
教育に関すること	7件
医療に関すること	3件
その他のご意見	60件
【主なご意見】	
自殺についてあまり知らなかった	4件
大阪市の自殺死亡率が高いことに驚いている	2件

◎前回調査との比較

(回答)	平成29年度		令和5年度	
	全体 (人, %)		全体 (人, %)	
自殺防止に関すること	99	42.9	60	38.5
相談場所の充実を図ってほしい	26	11.3	19	12.2
社会全体で取り組むべき	19	8.2	5	3.2
自治体の自殺対策だけでは限界がある	7	3.0	5	3.2
設備・ハードを充実させてほしい	5	2.2	5	3.2
労働環境を改善すべき	5	2.2	4	2.6
理由や傾向を分析・把握すべき	4	1.7	6	3.8
啓発に関すること	33	14.3	26	16.7
教育に関すること	22	9.5	7	4.5
医療に関すること	5	2.2	3	1.9
その他のご意見	72	31.2	60	38.5
自殺についてあまり知らなかった	5	2.2	4	2.6
大阪市の自殺死亡率が高いことに驚いている	3	1.3	2	1.3

・「社会全体で取り組むべき」が、前回（19件）に比べて今回（5件）は、大幅に減少した。

【単純集計表】

【問1】現在、あなたは身体的に健康ですか。

No.	(回答)	N	
		N	%
1	健康である	315	35.5
2	まあまあ健康である	424	47.7
3	あまり健康でない	115	13.0
4	健康でない	34	3.8

【問2】現在、あなたは精神的に健康ですか。

No.	(回答)	N	
		N	%
1	健康である	323	36.4
2	まあまあ健康である	382	43.0
3	あまり健康でない	135	15.2
4	健康でない	48	5.4

【問3】現在、あなたに悩みやストレスはありますか。

No.	(回答)	N	
		N	%
1	はい	559	63.0
2	いいえ	329	37.0

【問4】あなたの悩みやストレスとはどんな内容ですか。当てはまるものを全て選択してください。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	家族との人間関係	141	25.2
2	家族以外の人との人間関係	112	20.0
3	話し相手がいない	44	7.9
4	生きがいを感じない	127	22.7
5	自由にできる時間がない	44	7.9
6	収入が少ない	220	39.4
7	借金やローン	53	9.5
8	失業・失業の不安	43	7.7
9	仕事に関すること(失業以外)	154	27.5
10	学校生活に関すること	15	2.7
11	将来についての不安	219	39.2
12	老後についての不安	216	38.6
13	自分の健康・病気	209	37.4
14	家族の健康・病気	134	24.0
15	介護の負担	37	6.6
16	家族の世話	51	9.1
17	恋愛・結婚についての不安	45	8.1
18	身近な人の死	17	3.0
19	ジェンダーに関すること	11	2.0
20	よくわからないが、もやもやしている	39	7.0
21	その他(具体的に)	17	3.0

【問4】選択された悩みやストレスの原因には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるか、該当するものを選択してください。

No.	1.家族との人間関係 (回答)	N	
		N	%
1	影響がある	21	14.9
2	影響はない	109	77.3
3	わからない	11	7.8

No.	2.家族以外の人との人間関係 (回答)		
		N	%
1	影響がある	17	15.2
2	影響はない	75	67.0
3	わからない	20	17.9

No.	3.話し相手がない (回答)		
		N	%
1	影響がある	17	38.6
2	影響はない	20	45.5
3	わからない	7	15.9

No.	4.生きがいを感じない (回答)		
		N	%
1	影響がある	17	13.4
2	影響はない	87	68.5
3	わからない	23	18.1

No.	5.自由にできる時間がない (回答)		
		N	%
1	影響がある	11	25.0
2	影響はない	29	65.9
3	わからない	4	9.1

No.	6.収入が少ない (回答)		
		N	%
1	影響がある	56	25.5
2	影響はない	134	60.9
3	わからない	30	13.6

No.	7.借金やローン (回答)		
		N	%
1	影響がある	21	39.6
2	影響はない	26	49.1
3	わからない	6	11.3

No.	8.失業・失業の不安 (回答)		
		N	%
1	影響がある	16	37.2
2	影響はない	23	53.5
3	わからない	4	9.3

No.	9.仕事に関すること(失業以外) (回答)		
		N	%
1	影響がある	32	20.8
2	影響はない	104	67.5
3	わからない	18	11.7

No.	10.学校生活に関すること (回答)		
		N	%
1	影響がある	4	26.7
2	影響はない	9	60.0
3	わからない	2	13.3

No.	11.将来についての不安 (回答)		
		N	%
1	影響がある	43	19.6
2	影響はない	153	69.9
3	わからない	23	10.5

No.	12.老後についての不安 (回答)		
		N	%
1	影響がある	41	19.0
2	影響はない	150	69.4
3	わからない	25	11.6

No.	13.自分の健康・病気 (回答)		
		N	%
1	影響がある	38	18.2
2	影響はない	138	66.0
3	わからない	33	15.8

No.	14.家族の健康・病気 (回答)		
		N	%
1	影響がある	33	24.6
2	影響はない	83	61.9
3	わからない	18	13.4

No.	15.介護の負担 (回答)		
		N	%
1	影響がある	9	24.3
2	影響はない	23	62.2
3	わからない	5	13.5

No.	16.家族の世話 (回答)		
		N	%
1	影響がある	10	19.6
2	影響はない	36	70.6
3	わからない	5	9.8

No.	17.恋愛・結婚についての不安 (回答)		
		N	%
1	影響がある	9	20.0
2	影響はない	31	68.9
3	わからない	5	11.1

No.	18.身近な人の死 (回答)		
		N	%
1	影響がある	6	35.3
2	影響はない	10	58.8
3	わからない	1	5.9

No.	19.ジェンダーに関すること (回答)		
		N	%
1	影響がある	2	18.2
2	影響はない	9	81.8
3	わからない	0	0.0

No.	20.よくわからないが、もやもやしている (回答)		
		N	%
1	影響がある	3	7.7
2	影響はない	21	53.8
3	わからない	15	38.5

No.	21.その他 (回答)		
		N	%
1	影響がある	2	11.8
2	影響はない	12	70.6
3	わからない	3	17.6

【問5】悩みやストレスを日ごろ誰かに相談していますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	相談している	164	29.3
2	相談したいが誰に相談したらよいかわからないでいる	106	19.0
3	誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できないでいる	86	15.4
4	相談する必要はないので誰にも相談していない	203	36.3

【問6】こころの健康等に関する相談機関(例えば、大阪市こころの悩み電話相談、こころの健康相談統一ダイヤル、各区役所の相談窓口、大阪精神科救急ダイヤル、いのちの電話 など)があることを知っていますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	知っている	399	44.9
2	知らない	489	55.1

【問7】こころの健康等に関する相談機関について、知っているものをすべてお答えください。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	大阪市こころの悩み電話相談	215	53.9
2	こころの健康相談統一ダイヤル	82	20.6
3	各区役所の相談窓口	146	36.6
4	大阪精神科救急ダイヤル	23	5.8
5	いのちの電話	239	59.9
6	その他	1	0.3

【問8】自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	聞いたことがある	78	8.8
2	聞いたことがない	810	91.2

【問9】自殺対策における「ゲートキーパー ※」の役割を知っていますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	知っている	58	74.4
2	知らない	20	25.6

【問10】あなたは「自死」という言葉を知っていますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	知っている	457	51.5
2	よく知らないが聞いたことはある	213	24.0
3	知らない	218	24.5

【問11】自殺対策は市民一人ひとりが関わるべき問題だと思いますか。

No.	(回答)		
		N	%
1	思う	137	15.4
2	どちらかと言えば思う	403	45.4
3	どちらかと言えば思わない	214	24.1
4	思わない	134	15.1

【問12】大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国値より高いことを知っていますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	知っている	72	8.1
2	あまり詳しく知らないが聞いたことはある	193	21.7
3	知らない	623	70.2

【問13】これまでのあなたの人生の中で、親族や友人・知人などが自殺をされた方が身近にいますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	いる	191	21.5
2	いない	637	71.7
3	答えたくない	60	6.8

【問14】あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	本気で考えたことがある	186	20.9
2	本気で考えたことがない	609	68.6
3	答えたくない	93	10.5

【問15】過去1年以内に、自殺したいと考えたことはありますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	頻繁に考えた	30	16.1
2	ときどき考えた	64	34.4
3	あまり考えなかった	28	15.1
4	全く考えなかった	61	32.8
5	答えたくない	3	1.6

【問16】本気で自殺したいと考えたとき、どのようにされましたか。当てはまるものをすべて選択してください。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	45	24.2
2	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	30	16.1
3	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談し	3	1.6
4	学校や職場の相談窓口で悩みを聞いてもらった	1	0.5
5	宗教家・団体等に相談した	4	2.2
6	自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)に悩みを聞いてもらった	3	1.6
7	できるだけ休養を取るようにした	32	17.2
8	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	35	18.8
9	その他	8	4.3
10	特に何もしなかった	73	39.2
11	答えたくない	11	5.9

【問17】あなたは「大阪市自殺対策基本指針(第2次)」について、知っていますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	知っている	18	2.0
2	聞いたことはあるがよく知らない	116	13.1
3	知らない	754	84.9

【問18】あなたは毎年9月10日から9月16日までが「自殺予防週間」であることを知っていますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	知っている	49	5.5
2	知らない	839	94.5

【問19】あなたは毎年3月が「自殺対策強化月間」であることを知っていますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	知っている	39	4.4
2	知らない	849	95.6

【問20】あなたは自殺対策にどの程度関心がありますか。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	関心がある	54	6.1
2	どちらかと言えば関心がある	277	31.2
3	どちらかと言えば関心がない	338	38.1
4	関心がない	219	24.7

【問21】自殺対策として、あなたが大切だと思うことはどのようなものでしょうか。主なものを3つまで選択してください。

No.	(回答)	複数回答可	
		N	%
1	自殺防止に関する市民への啓発運動	101	11.4
2	景気の早期回復	251	28.3
3	債務(借金返済)相談の充実	88	9.9
4	職場や地域でのこころの相談の充実	166	18.7
5	学校でのこころの相談・居場所づくりの充実	180	20.3
6	インターネットを利用したこころの相談	107	12.0
7	宗教による相談やこころの支え	19	2.1
8	学校でのいのちの教育	98	11.0
9	家庭でのいのちの教育	57	6.4
10	学校や職場で、教師・上司等相談に応じる人への研修	61	6.9
11	もっと精神科を受診しやすくする	135	15.2
12	自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)	75	8.4
13	かかりつけの医師の目くばり	28	3.2
14	孤立を防ぐ対策	208	23.4
15	自殺未遂者への支援	65	7.3
16	自死遺族等への支援	22	2.5
17	その他	9	1.0
18	特になし	229	25.8

## 令和5年度アンケート調査 「大阪市の自殺対策について」

### 調査の目的

大阪市では、国における「自殺総合対策大綱」に基づいて、平成30年3月に「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」を策定し、『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現』に向けて自殺対策の取組を推進しています。

今回のアンケートは、市民の皆様の自殺とその対策に関する認知度や関心度についてお聞きし、今後の自殺対策の取組の参考とさせていただくものです。

#### 【問1】

現在、あなたは身体的に健康ですか。

1. 健康である      2. まあまあ健康である      3. あまり健康でない      4. 健康でない

#### 【問2】

現在、あなたは精神的に健康ですか。

1. 健康である      2. まあまあ健康である      3. あまり健康でない      4. 健康でない

#### 【問3】

現在、あなたに悩みやストレスはありますか。

1. はい      2. いいえ → 【問6】へ

#### 【問4】（問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。）

あなたの悩みやストレスとはどんな内容ですか。当てはまるものを全て選択してください。また、選択された悩みやストレスの原因には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるか、該当するものに☑を入れてください。

#### 新型コロナウイルスによる悪影響についてご回答ください

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 家族との人間関係       | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 2. 家族以外の人との人間関係   | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 3. 話し相手がいない       | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 4. 生きがいを感じない      | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 5. 自由にできる時間がない    | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 6. 収入が少ない         | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 7. 借金やローン         | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 8. 失業・失業の不安       | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 9. 仕事に関すること（失業以外） | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 10. 学校生活に関すること    | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 11. 将来についての不安     | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 12. 老後についての不安     | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 13. 自分の健康・病気      | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 14. 家族の健康・病気      | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 15. 介護の負担         | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |
| 16. 家族の世話         | 【 <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響はない <input type="checkbox"/> わからない】 |

17. 恋愛・結婚についての不安 【 影響がある 影響はない わからない】  
18. 身近な人の死 【 影響がある 影響はない わからない】  
19. ジェンダーに関すること 【 影響がある 影響はない わからない】  
20. よくわからないが、もやもやしている【影響がある 影響はない わからない】  
21. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

【問5】（問3で「1. はい」を選ばれた方のみお答えください。）

悩みやストレスを日ごろ誰かに相談していますか。

1. 相談している
2. 相談したいが誰に相談したらよいかわからないでいる
3. 誰に相談したらいいかわかっているのだが、誰にも相談できないでいる
4. 相談する必要はないので誰にも相談していない

【問6】

こころの健康等に関する相談機関（例えば、大阪市こころの悩み電話相談、こころの健康相談統一ダイヤル、各区役所の相談窓口、大阪精神科救急ダイヤル、いのちの電話 など）があることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

【問7】（問6で「1. 知っている」を選ばれた方のみお答えください。）

こころの健康等に関する相談機関について、知っているものをすべてお答えください。

1. 大阪市こころの悩み電話相談
2. こころの健康相談統一ダイヤル
3. 各区役所の相談窓口
4. 大阪精神科救急ダイヤル
5. いのちの電話
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

【問8】

自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。

1. 聞いたことがある
2. 聞いたことがない → 【問10】へ

【問9】（問8で「1. 聞いたことがある」を選ばれた方のみお答えください。）

自殺対策における「ゲートキーパー ※」の役割を知っていますか。

※ ゲートキーパー：

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のこと

1. 知っている
2. 知らない

【問10】

あなたは「自死」という言葉を知っていますか。

1. 知っている
2. よく知らないが聞いたことはある
3. 知らない

【問 1 1】

自殺対策は市民一人ひとりが関わるべき問題だと思いますか。

1. 思う 2. どちらかと言えば思う 3. どちらかと言えば思わない 4. 思わない

【問 1 2】

大阪市の自殺死亡率が、長年にわたって全国値より高いことを知っていますか。

1. 知っている 2. あまり詳しく知らないが聞いたことはある 3. 知らない

【問 1 3】

これまでのあなたの人生の中で、親族や友人・知人などが自殺をされた方が身近にいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

【問 1 4】

あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。

1. 本気で考えたことがある  
2. 本気で考えたことがない →【問 1 7】へ  
3. 答えたくない →【問 1 7】へ

【問 1 5】(問 1 4で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。)

過去1年以内に、自殺したいと考えたことはありますか。

1. 頻繁に考えた 2. ときどき考えた 3. あまり考えなかった  
4. 全く考えなかった 5. 答えたくない

【問 1 6】(問 1 4で「1. 本気で考えたことがある」を選択された方のみお答えください。)

そのように考えたとき、どのようにされましたか。当てはまるものをすべて選択してください。

1. 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった  
2. 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した  
3. 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した  
4. 学校や職場の相談窓口で悩みを聞いてもらった  
5. 宗教家・団体等に相談した  
6. 自殺防止電話相談(例:「いのちの電話」など)に悩みを聞いてもらった  
7. できるだけ休養を取るようにした  
8. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた  
9. その他( )  
10. 特に何もしなかった(複数選択不可)  
11. 答えたくない(複数選択不可)

【問 1 7】

あなたは「大阪市自殺対策基本指針(第2次)」について、知っていますか。

1. 知っている



# 「大阪市の自殺対策について」アンケート調査

---

令和5年8月

大阪市こころの健康センター